

第93回 定期総会議案書 令和3年度 事業報告書

■令和4年6月27日（月）20:00～

■那覇市医師会館ホール

<式次第>

第1 開会宣言

第2 出席者報告

第3 会長挨拶

第4 議事録署名人の指名

第5 報 告

(1) 令和3年度事業報告に関する件

(2) 令和3年度会計監査報告に関する件

第6 議 事

第1号議案 令和3年度決算書の承認に関する件

1. 事務局会計

2. 生活習慣病検診センター検診事業会計

3. 生活習慣病検診センター検査事業会計

4. 那覇看護専門学校会計

第2号議案 役員の選出について

第7 閉 会

一般社団法人 那覇市医師会

目 次

I 事務局

1. 総 会	1
2. 理事会	1
3. 評議員会	1
4. 会員の動向	2
5. 職員の動向	3
6. 理事会、評議員会、各種委員会	3
7. 令和2年・令和3年 顕彰者名簿	10
8. 新型コロナウイルス感染症関連事項	11
9. 財務検討委員会	12
10. 広報委員会	12
11. 禁煙推進委員会	14
12. 学校保健運営委員会	14
13. 救急医療対策委員会	17
14. 沖縄周産期ネットワーク協議会	17
15. 病診連携委員会	18
16. 学術・生涯教育委員会	18
17. 糖尿病治療検討委員会	20
18. 那覇市CKD（慢性腎臓病）病診連携推進会議	20
19. 感染症・予防接種委員会について	22
20. うつ病対策検討委員会	23
21. 会員福祉	23

II 検診事業

1. 生産性について	24
2. 九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会	25
3. 生活習慣病検診センター運営委員会	27
4. 生活習慣病検診センター読影委員会	27
5. 那覇市在宅医療・介護連携推進事業	27
6. 那覇地域産業保健センターの活動について	30
7. LHR事業	31

III 検査事業

1. 新管理基準書に基づく品質マネジメント体制強化	32
2. 人材育成の強化	32
3. 検査部運営管理	32
4. 渉外機能の強化	32

IV 看護学校

1. 各種委員会開催状況	33
2. 看護師の養成と資質の向上	34
3. 職員の資質の向上対策	34
4. 臨地実習施設との連携強化並びに外来講師確保	35
5. 教育環境の整備	36
6. 対外広報・地域との連携	37
7. 後援会及び同窓会活動の支援及び里帰りトレーニングの実施	37

VI 各種会議状況

1. 第49回那覇市医療協議会	38
2. 第58回九州首市医師会連絡協議会	38
3. 第62回地区医師会連絡協議会	38

I 事務局

1. 総 会

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの間に開催した総会は2回で次の通りである。

第91回 那覇市医師会臨時総会

日時：令和3年6月28日（月）午後8時00分

場所：那覇市医師会館 4階ホール

〈総会次第〉

第1 開会宣言

第2 出席者報告

第3 会長挨拶

第4 議事録署名人の指名

第5 報 告

（1）令和2年度事業報告に関する件

（2）令和2年度会計監査報告に関する件

第6 議 事

第1号議案 令和2年度決算書の承認に関する件

1. 事務局会計

2. 生活習慣病検診センター検診事業会計

3. 生活習慣病検診センター検査事業会計

4. 那覇看護専門学校会計

第7 閉 会

第92回 那覇市医師会臨時総会

日時：令和4年3月28日（月）午後8時00分

場所：那覇市医師会館 4階ホール

〈総会次第〉

第1 開会宣言

第2 出席者報告

第3 会長挨拶

第4 議事録署名人の指名

第5 議事

（1）第1号議案： 令和4年度事業計画(案)承認に関する件

（2）第2号議案： 令和4年度収支予算(案)承認に関する件

1. 事務局会計

2. 生活習慣病検診センター検診事業会計

3. 生活習慣病検診センター検査事業会計

4. 那覇看護専門学校会計

（3）第3号議案： 沖縄県医師会代議員の選出について

第6 閉会

2. 理事会 記録の一覧表は巻末に一括掲載

3. 評議員会 記録の一覧表は巻末に一括掲載

4. 会員の動向

令和4年3月31日現在における本会員数は、514名である。入会・退会会員は次のとおりである。

区 分	会 員 数	構 成 比
A 会 員	226名	44.0%
B 会 員	288名	56.0%
合 計	514名	100%

入会会員（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

氏 名	病医院名	会員 区分	入会日
當間 隆也	Kukuru きつずクリニック	A	03/04/01
山城 雄貴	山城消化器内科医院	B	04/01
山城 慶子	山城消化器内科医院	B	04/01
嘉数 昇達	嘉数胃腸科外科医院	B	04/01
島袋 盛洋	田崎病院	B	04/01
武島 翔	おもろまちメディカルセンター	B	04/01
平良 愛香	沖縄協同病院	B	04/01
内間 耕	沖縄協同病院	B	04/01
服部 一真	沖縄協同病院	B	04/01
徳門 佳乃	沖縄協同病院	B	04/01
藤原 大樹	沖縄協同病院	B	04/01
藤原 七菜	沖縄協同病院	B	04/01
清水 直貴	沖縄協同病院	B	04/01
黒島 崇博	沖縄協同病院	B	04/01
鵜浦 太郎	沖縄協同病院	B	04/01
宮崎 大地	沖縄協同病院	B	04/01
宇座 大地	沖縄協同病院	B	04/01
仲宗根 和佳子	自宅会員	B	04/01
小松 知己	沖縄協同病院	B	04/12
安次嶺 宏哉	沖縄協同病院	B	06/01
國吉 宣男	めおとばしクリニック	A	07/01
玉城 尚	オリブ山病院	A	07/01
大仲 良仁	沖縄セントラル病院	B	07/01
米納 加代子	ヒルズガーデンクリニック	B	08/01
島袋 高志	ふうりん訪問診療所	A	09/01
富里 孔太	沖縄赤十字病院	B	12/01
正本 仁	沖縄赤十字病院	B	12/01
饒波 保	介護老人保健施設 シルバーピアしきな	A	04/02/01
森山 無価	おろく眼科	A	02/01
金城 興次郎	こくら台ハートクリニック	A	03/01

退会会員（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

氏 名	病医院名	会員 区分	退会日
我部 敦	大浜第一病院	B	03/03/31
當間 智	おもろまちメディカルセンター	B	03/31
上原 清昇	自宅会員	B	04/19
安里 洋	なはまちクリニック（逝去）	A	05/07
新城 百代	小禄病院（逝去）	B	05/13
福田 暁子	沖縄協同病院	B	06/01
仲村 宏春	自宅会員（逝去）	B	06/09
田中 由香子	自宅会員	B	06/30
平沼 進	大浜第一病院	B	07/31
長嶺 博	自宅会員（逝去）	B	11/16
仲田 精伸	沖縄協同病院	B	11/30
名富 仁美	大浜第一病院	B	12/31
宮城 大雅	沖縄南部療育医療センター	B	04/01/13
川崎 恭子	介護老人保健施設 シルバーピアしきな	A	01/31
渡久地 正和	自宅会員（逝去）	B	02/21
町田 宗正	町田医院（逝去）	A	02/23
崎濱 秀英	自宅会員（逝去）	B	03/30
当間 武	沖縄県赤十字血液センター	B	03/31
大見 剛	かいせいクリニック	B	03/31
加藤 あさひ	沖縄協同病院	B	03/31
新崎 隼一	沖縄協同病院	B	03/31
石川 朋武	沖縄協同病院	B	03/31
岡 伊作	沖縄協同病院	B	03/31
奥村 ひかり	沖縄協同病院	B	03/31
千々和 可怜	沖縄協同病院	B	03/31
中山 佳奈	沖縄協同病院	B	03/31
村上 脩斗	沖縄協同病院	B	03/31
新崎 遥	沖縄協同病院	B	03/31
長谷川 千穂	沖縄協同病院	B	03/31

5. 職員の動向

令和4年3月31日現在における本会職員数は121名となっている。

職種別職員数は次表のとおりである。

区 分	職 員 数			備 考
	合計	正職員	臨時パート等	
医 療 職	37	16	21	
(男子)	(5)	(5)	(0)	
(女子)	(32)	(11)	(21)	
教 育 職	26	20	6	
(男子)	(4)	(3)	(1)	
(女子)	(22)	(17)	(5)	
事 務 職	51	30	21	
(男子)	(17)	(15)	(2)	
(女子)	(34)	(15)	(19)	
渉 外 職	7	5	2	
(男子)	(6)	(5)	(1)	
(女子)	(1)	(0)	(1)	
合 計	121	71	50	
(男子)	(32)	(28)	(4)	
(女子)	(89)	(43)	(46)	

6. 理事会、評議員会、各種委員会

(1) 理事・監事

(令和2年6月22日～令和4年6月27日)

役 職	氏 名	施 設 名	電 話	F A X	所属班
会 長	山 城 千 秋	山城整形外科眼科医院	836-1100	831-7761	与 儀
副会長	友 利 博 朗	八重洲クリニック	861-8618	861-9857	若 狭
副会長	玉 井 修	曙クリニック	863-5858	863-5870	崇元寺
常任理事	田 名 毅	首里城下町クリニック第一	885-5000	885-5007	首里・松川
理 事	白 井 和 美	白井クリニック	833-6500	833-6500	与 儀
	喜納 美津男	きなクリニック	885-4976	885-4978	首里・松川
	宮 城 政 剛	新川クリニック	863-1511	863-1493	牧 志
	外 間 英 之	外間眼科医院	867-8100	867-8101	崇元寺
	長 嶺 勝	ライフケアクリニック那覇	832-1721	832-1723	久茂地
	玉城 研太郎	那覇西クリニック	858-5557	858-5552	小 禄
	嘉 数 朗	かかずハートクリニック	894-8826	901-7869	崇元寺
	宮 城 淳	沖縄赤十字病院	853-3134	853-7811	与 儀
	比 嘉 睦	まんまる子どもクリニック	858-0083	859-0038	小 禄
	當 山 拓 也	当山美容形成外科	867-2093	269-1832	久茂地
監 事	大 見 洋 二	自宅会員	861-3233	861-3233	崇元寺
	仲 本 昌 一	仲本内科・小児科	860-1835	860-1869	崇元寺
	久 田 均	脳外科クリニックくだ	834-2700	834-2702	開 南

(2) 評議員

総会選出

班選出

(令和2年6月22日～令和4年6月27日) (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

	氏 名	班 名
	議長	
1	知 念 弘	崇元寺
2	長 嶺 信 夫	小 禄
3	伊 集 守 政	若 狭
4	玉 城 信 光	安 里
5	伊志嶺 隆	久茂地
6	崎 原 永 辰	若 狭
7	又 吉 嘉 伸	崇元寺
8	糸 数 功	崇元寺
9	権 田 憲 士	安 里
10	有 銘 一 朗	与 儀

	氏 名	班 名		氏 名	班 名
	副議長		11	高 良 光 雄	与 儀
1	石 田 吉 樹	安 里	12	根 本 健 二	寄 宮
2	山 城 剛	小 禄	13	真栄田 篤彦	若 狭
3	尾 野 敏 郎	開 南			
4	小 禄 雅 人	久茂地			
5	屋 宜 亮 平	首里・松川			
6	宮 城 裕 之	崇元寺			
7	我那覇 安彦	壺 屋			
8	富 山 幸 佑	牧 志			
9	松 島 朝 彦	松 尾			
10	川 平 昌 秀	美栄橋			

(3) 沖縄県医師会代議員

(令和2年4月1日～令和4年3月31日)

1	長 嶺 信 夫	8	真志取 浩貴
2	山 城 千 秋	9	長 嶺 勝
3	友 利 博 朗	10	宮 城 淳
4	玉 井 修	11	嘉 数 朗
5	宮 城 政 剛	12	當 山 拓 也
6	糸 数 功	13	安 里 良
7	外 間 英 之		

(4) 沖縄県医師連盟執行委員那覇市支部

(令和2年6月25日～令和4年6月23日)

1	山 城 千 秋	11	真志取 浩貴
2	友 利 博 朗	12	大 見 洋 二
3	玉 井 修	13	仲 本 昌 一
4	宮 城 政 剛	14	知 念 弘
5	外 間 英 之	15	赤 嶺 和 成
6	長 嶺 勝	16	崎 原 永 辰
7	嘉 数 朗	17	権 田 憲 士
8	比 嘉 睦		
9	當 山 拓 也		
10	糸 数 功		

委員会名		委員名	
・医療保険研究委員会 ・医療関係者対策委員会 ・医事紛争処理委員会 ・母体保護法指定医師審査委員会 ・生涯学習委員会 ・産業医委員会 ・広報委員会 ・定款等諸規定検討委員会 ・地域医療委員会 ・情報システム委員会 ・福祉・経営委員会 ・臨床検査精度管理委員会 ・医療安全対策委員会委員 ・会員の倫理向上委員会 ・会館運営委員会 ・地域医療臨床研修委員会 ・会費検討委員会 ・治験審査委員会 ・災害医療委員会 ・地域包括ケア対策委員会 ・地域医療保健対策委員会 ・医療事故調査支援委員会		親川幸信 山城千秋 外間英之 — 宮城政剛 白井和美 玉井 修 友利博朗 長嶺 勝 玉井 修 友利博朗 友利博朗 外間英之 友利博朗 玉井 修 當山拓也 友利博朗 田名 毅 大城康一 玉城研太郎 宮城 淳 喜納美津男 玉城研太郎 —	
委員会名		委員名	
・学校医部会 ・勤務医部会 ・女性医師部会 ・労災部会 ・病院部会 ・警察医部会 ・医師国民健康保険組合 ・医師国民健康保険組合会 ・医師協同組合		山城千秋 比嘉 睦 大見謝恒人 嘉数 朗 宮城 淳 新垣紀子 新垣 寛 島袋博之 大城 淳 安里 良 平良直樹 宮城航一 田崎琢二 石井和博 山城千秋 山城雄二 田名 毅 萩原啓介 糸数 健 山城千秋 友利博朗 玉井 修 喜納美津男 外間英之 仲本昌一 屋宜 晃 稲田隆司 田名 毅 白井和美 渡久山洋子	

(6) 沖縄県医師会各会役員及び議員 (令和2年4月1日～令和4年3月31日)

(7) 各種委員会名簿

(令和2年6月22日～令和4年6月27日)

財務検討委員会		定款・諸規程改正 検討委員会		医の倫理向上 委員会 (医の倫理、医療安全、医事紛争)		学校保健運営 委員会		那覇看護専門学校 入学卒業等認定 委員会	
担当理事： 山城 千秋 副担当理事： 友利 博朗		担当理事： 山城 千秋 副担当理事： 友利 博朗		担当理事： 山城 千秋 副担当理事： 友利 博朗		担当理事： 比嘉 睦 副担当理事： 友利 博朗 白井 和美		担当理事： 當山拓也 副担当理事： 玉井 修	
1	玉 井 修	1	友 寄 英 毅	1	新 里 越 郎	1	伊志嶺 恒洋	1	山城 千秋
2	田 名 毅	2	国 吉 勲	2	稲 田 隆 司	2	崎 原 永 辰	2	教職員
3	大 見 洋 二	3	玉 城 信 光	3	川 平 昌 秀	3	上 原 弘 行		
4	仲 本 昌 一	4	伊志嶺 隆	4	友 寄 英 毅	4	安 田 忍 功		
5	久 田 均					5	糸 数 功 之		
6	玉城 研太郎					6	外 間 英 之		
7	當 山 拓 也								

・那覇看護専門 学校運営委員会 ・学校評価委員会	生活習慣病検診 センター運営 委員会	学術・生涯教育 委員会	広報委員会	禁煙推進委員会
--------------------------------	--------------------------	----------------	-------	---------

委 員 会 名	委 員 名
・学校医部会	山城千秋 比嘉 睦 大見謝恒人
・勤務医部会	嘉数 朗 宮城 淳
・女性医師部会	新垣紀子
・労災部会	新垣 寛 島袋博之 大城 淳 安里 良
・病院部会	平良直樹 宮城航一 田崎琢二 石井和博
・警察医部会	山城千秋 山城雄二
・医師国民健康保険組合	田名 毅 萩原啓介
・医師国民健康保険組合会	糸数 健 山城千秋 友利博朗 玉井 修 喜納美津男
	外間英之 仲本昌一 屋宜 晃
・医師協同組合	稲田隆司 田名 毅 白井和美 渡久山洋子

担当理事： 當山拓也 副担当理事： 玉井 修		担当理事： 玉城 研太朗 副担当理事： 當山 拓也		担当理事： 宮城 政剛 副担当理事： 玉井 修		担当理事： 白井 和美 副担当理事： 玉井 修		担当理事： 嘉数 朗 副担当理事： 喜納美津男	
1	伊志嶺 隆	1	崎 原 永 辰	1	喜屋武 邦雄	1	真志取 浩貴	1	長 嶺 信 夫
2	糸 数 功	2	又 吉 亮 二	2	兼 島 洋	2	新 里 仁 哲	2	仲 本 昌 一
3	平 良 勝 己	3	豊 田 和 正	3	勝 連 英 雄	3	有 銘 一 朗	3	上 原 弘 行
4	山 内 昌 喜	4	山 本 明	4	新 里 仁 哲	4	嘉 数 朗	4	山 代 寛
5	山 城 千 秋	5	上 原 協	5	喜納 美津男	5	間仁田 守	5	山 根 邦 夫
6	友 利 博 朗	6	平 良 直 人			6	中矢代 真美	6	大城 かおり
7	田 名 毅	7	真栄城 修二			7	赤 嶺 盛 和		
8	玉城 研太朗	8	糸数 功			8	高橋 由紀乃		
		9	山 城 千 秋						

病診連携委員会		救急医療対策委員会		産業保健委員会		検査部運営協議会		裁定委員会	
担当理事： 玉井 修 副担当理事： 友利博朗 宮城 淳		担当理事： 宮 城 淳 副担当理事： 玉 井 修		担当理事： 白井 和美 副担当理事： 友利博朗		担当理事： 友利 博朗 副担当理事： 宮城政剛		担当理事： 山城 千秋	
1	大 城 康 一	1	新 垣 敏 幸	1	山 城 千 秋	1	山 城 千 秋	1	糸 数 健
2	宮 城 雅 也	2	伊 泊 広 二			2	玉 井 修	2	岸 本 幸 治
3	新 垣 均	3	金 井 透			34	崎 原 永 辰	3	新 里 越 郎
4	仲 吉 朝 邦	4	佐々木 秀章					4	友 寄 英 毅
5	永 山 隆 盛	5	高江洲 良一					5	伊 集 守 政
6	前 田 武 俊	6	寺 田 泰 蔵						
7	平 良 直 樹	7	仲 地 紀 茂						
8	伊 泊 広 二	8	仲 本 昌 一						
9	宮 城 淳	9	林 峰 栄						
10	山 本 明	10	真栄田 篤彦						
11	嘉 数 朗								
12	山 根 邦 夫								
13	山 城 千 秋								
14	宮 城 政 剛								
15	喜納 美津男								

チャリティー写真 展実行委員会	糖尿病治療検討 委員会	うつ病対策検討 委員会	感染症・予防接種 委員会	那覇市CKD病診連携 推進会議
--------------------	----------------	----------------	-----------------	--------------------

担当理事： 外間 英之 副担当理事： 當山 拓也		担当理事： 田名 毅		担当理事： 玉井 修		担当理事： 比嘉 睦 副担当理事： 宮城 政剛		担当理事： 田名 毅	
1	仲本 昌一	1	湧上 民雄	1	田名 毅	1	糸数 修	1	宮良 忠
2	豊見城 直樹	2	和気 亨	2	伊志嶺 隆	2	国吉 賢	2	糸数 昌悦
3	真志取 浩貴	3	長田 光司	3	井上 幸代	3	玉那覇康一郎	3	仲宗根 正
4	糸数 功	4	石川 修作	4	平良 直樹	4	仲本 昌一	4	比嘉 啓
		5	砂川 優	5	長崎 文江	5	宮城 聡	5	真栄城 修二
				6	横田 泉	6	白井 和美	6	屋宜 宣治
				7	長岡 研太郎	7	友利 博朗	7	高良 めぐみ
								8	谷川 聖
								9	宮城 輝

那覇市在宅医療・ 介護連携支援ネッ トワーク協議会		那覇市在宅療養 支援診療所連絡会		医療・介護連携運 営委員会		I C T推進 委員会	
担当理事： 喜納 美津男 副担当理事： 長嶺 勝		担当理事： 嘉数 朗 副担当理事： 長嶺 勝		担当理事： 喜納 美津男 副担当理事： 長嶺 勝		担当理事： 玉城研太郎	
1	玉井 修	1	山城 千秋	1	玉井 修	1	潮平 芳樹
2	嘉数 朗	2	玉井 修	2	嘉数 朗	2	山城 千秋
3	上間 一	3	喜納 美津男	3	田端 一彦	3	友利 博明
4	宮里 浩	4	山根 邦夫			4	玉井 修
5	仲宗根 正	5	又吉 嘉伸			5	喜納美津男
6	高良 孔明	6	嘉陽 信子			6	崎原 永辰
7	崎 辰子	7	宮城 聡			7	
8	宮城 愛子	8	上間 進				
9	中尾 滋久	9	新垣 安男				
10	吉田 陽子	10	伊志嶺 恒洋				
11	仲里 昇吾	11	甲口 知也				
12	城間 ゆかり	12	上間 一				
13	末吉 珠代	13	石田 吉樹				
14	與那嶺 康	14	屋宜 亮兵				
15	佐久川 伊弘	15	安里 千文				
16	羽鳥 訓秀	16	當間 隆也				
17	伊禮 智則	17	島袋 高志				
18	新垣 佳子	18	城間 留奈				
		19	高江洲 良一				

(8) 那覇市各種協議会事業

那覇市関係	委員会名	職 名	委員氏名
社会福祉関係	那覇市民福祉まつり実行委員会	実行委員	山城 千秋
	那覇市社会福祉大会	運営委員	山城 千秋
	那覇市社会福祉審議会	臨時委員	喜納美津男
	那覇市防災会議幹事委員会	委 員 監 事	宮城 淳 白井 和美
	那覇市国民健康保険運営協議会	委 員 委 員 委 員	久手堅 憲史 新垣 紀子 宮城 政剛
	国際通り夏祭り実行委員会	委 員	山城 千秋
	那覇市福祉事務所嘱託医 (保護課・障害福祉課)	内科担当医師 整形外科医師 精神科医師	国吉 勲 山城 千秋 長岡 研太郎
	那覇市交通安全市民運動推進協議会	委 員	山城 千秋
	那覇市市政100周年記念事業実行委員会	委 員	山城 千秋
	那覇市健康づくり推進協議会	副会長	山城 千秋
	那覇市公務災害補償等審査会	委 員	真志取 浩貴
	那覇市公務災害補償等認定委員会	委 員 委 員 委 員	山城 千秋 長崎 文江 石川 恒夫
	那覇市保健福祉医療審議会	委 員	喜納 美津男
	特別障害者手当等認定審査会	委 員	外間 英之

	地域包括支援センター運営協議会	委 員	喜納 美津男
	那覇市 CKD 病診連携推進会議	委 員	田名 毅
	那覇市国民保護協議会	委 員	宮城 淳
	那覇地区学校保健会	理 事	比嘉 睦

(9) 那覇市保健所関係

保健衛生関係	那覇市保健所運営協議会	委 員	山城 千秋
	那覇市自殺対策関係機関連絡会議 (外部会議)	委 員	玉井 修
	南部地区保健医療協議会	会 長	山城 千秋
	南部地区地域医療圏域推進会議	委 員	田名 毅
	衛生検査所精度管理専門委員会	委 員	友利 博朗
	那覇市予防接種健康被害調査委員会	委 員	比嘉 睦
	那覇市新型インフルエンザ対策有識者会議	委 員	比嘉 睦

(10) 労働局関係委員会

保健衛生関係	(一社) 沖縄県労働基準協会	理 事	白井 和美
--------	----------------	-----	-------

(11) 沖縄県・国関係

保健衛生関係	沖縄県食育推進協議会	委 員	崎原 永辰
	かかりつけ医等心の健康対応力向上 研修企画委員会	委 員	玉井 修
生活福祉関係	生活保護等	専門医	友寄英毅
介護関係	介護給付費等審査委員	委 員	平良 朝秀
			宮城 聡
少年健全関係	那覇少年鑑別所	視察委員	古内 重雄

7. 令和3年 顕彰者名簿 (1月～12月)

受賞月	受賞内容	受賞者(班名)
1月	日本公衆衛生協会長表彰	山根 邦夫 松城クリニック (首里・松川班)
2月	厚生労働大臣表彰(公衆衛生)	我那覇 安彦 がなは医院 (壺屋班)
3月	沖縄県学校保健功労者表彰	武村 盛信 かなぐすくクリニック (小禄班)
4月	叙勲 旭日双光章 保健衛生功労	玉城 信光 那覇西クリニックまかび (安里班)
9月	那覇地区学校保健功労者表彰	藤原 英士 小禄整形外科 (小禄班)
11月	叙勲 旭日双光章 保健衛生功労	真栄田 篤彦 西町クリニック (若狭班)
	日本医師会優功賞	白井 和美 白井クリニック (与儀班)

	那覇市政功労者表彰	小方 明子 真玉橋クリニック (与儀班)
	那覇市制100周年記念特別表彰	宮城 英雅 (旧) 宮城小児科医院 (牧志班)
		我那覇 安彦 がなは医院 (壺屋班)
		山城 雄二 山城消化器内科院 (与儀班)
	母子保健家族計画事業功労者表彰	石川 邦夫 石川産婦人科医院 (開南班)
1 2 月	沖縄県医事功労県知事表彰	友利 博朗 八重洲クリニック (若狭班)
	沖縄県医事功労者県医師会長表彰	糸数 功 糸数病院 (崇元寺班)
		上原 弘行 うえはら小児科医院 (崇元寺班)
		浦崎 貴志 浦崎整形外科クリニック (壺屋班)

8. 新型コロナウイルス感染症関連事項

(1) 那覇市内重点医療機関及び那覇市保健所、那覇市内医療機関との感染症対策会議

県コロナ対策本部及び那覇市保健所、重点医療機関や会員施設に参加いただき、「診療・検査医療機関の依頼と診療所の対応」、また「第5波時の会員施設におけるコロナ対応診療を踏まえた問題点」や、「救急搬送時等の問題点」、「第6波に向けた課題改善について対応や対策」について検討し、各医療機関の状況報告を含め議論した。

また令和4年3月以降の那覇・南部地域の高齢者施設にて感染者発生時における施設内療養に係る医療支援として、那覇・南部地区医師会管内の重点医療機関にて輪番制で支援し、医師・ICN（感染管理看護師）を派遣することについて協力いただくことができた。

令和4年3月31日現在の検査協力医療機関は88施設、診療・検査医療機関は72施設である。

(2) PCR検体採取について

那覇市内の高齢者施設及び在宅患者で、新型コロナウイルス検査が必要な方で、自力にて唾液の検体採取が不可能な方は、昨年度から引き続き巡回PCR検体採取を実施した。

令和3年4月1日～令和4年3月31日（延べ25回247人実施）、採取方法：鼻咽頭ぬぐい液

(3) 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について

- ①那覇市新型コロナワクチン推進室と常に連携し、1回目～3回目のワクチン接種について、医療従事者及び高齢者、一般市民、5歳～11歳へのワクチン接種体制について検討した。
- ②医療従事者等へのワクチン接種対応として基本型接種施設5施設、連携型接種施設35施設を決定し、医療従事者等へのワクチン接種体制を確立した。
- ③高齢者へのワクチン接種開始後は、会員施設の協力をいただき、那覇市内の医療機関では基本型接種施設は20施設、個別（サテライト）接種施設は95施設、計115施設（令和4年3月31日現在）にてワクチン接種を行った
- ④ワクチン接種率が伸び悩みしていた9月上旬に、若い方の接種を加速させていくためにワクチン接種のイメージソング「愛のメッセンジャー コロナワクチン」を作詞は玉井副会長、作曲は検査センター職員（検査技師：源さん）、総監修は山城会長で制作した。新型コロナワクチン集団接種会場や那覇市内各医療機関にて曲を流していただいた。那覇市医師会ホームページでも視聴は可能である。
- ⑤高齢者施設に入居している方へのワクチン接種を、那覇市医師会ちゅいしーじー那覇が中心とな

り、6月上旬～8月中旬にかけて1・2回目接種を、2月上旬から3月中旬には3回目の巡回ワクチン接種を実施した。

- ⑥松山、久茂地、栄町等の飲食店従業員へのワクチン接種を那覇市医師会生活習慣病検診センターと八重洲クリニックにて以下の日程で1,370人の接種を行った。

1回目接種：令和3年7月20日(火)～7月23日(金)

2回目接種：令和3年8月3日(火)～8月13日(金)

- ⑦那覇市と協同し、11月7日(日)にサンエー那覇メインプレイス（那覇市おもろまち）にて予約なしで143人のワクチン接種を実施した。

- ⑧沖縄観光コンベンションビューローと、コロナ禍における沖縄県の観光業界回復に向けた取り組みとして、新型コロナウイルス感染症に係るコロナワクチン職域接種へ、医師・看護師等の医療従事者の確保・派遣に覚書を締結した。

(4) 新型コロナウイルス感染症に関わる行政からの委託事業関連について

- ①自宅療養中の新型コロナウイルス感染症患者への在宅診療等コーディネート業務

感染者の急増により、入院調整中の自宅待機者が急増し、自宅療養者で酸素飽和度の低下や発熱の持続等、状態が悪化しても早急な入院調整が困難となるなど、医療体制が非常にひっ迫している状況を受け、自宅療養者等のうち、酸素投与や投薬などの医療提供が必要な方に対する往診や電話・オンライン診療、訪問看護等を行う体制確保を行った。(令和4年4月以降も継続)

- ②沖縄県・那覇市保健所からの集合契約の委託業務

1)新型コロナウイルス感染症に係る行政検査の集合契約について（検査協力医療機関）

2)新型コロナワクチンの接種実施等に関する委託の集合契約について

3)濃厚接触者となった医療従事者に対する行政検査の集合契約について

4)「診療・検査医療機関」の指定申請について（診療・検査医療機関）

5)次のインフルエンザ流行に備えた診療・検査体制の整備に係る医療用物資の配布について

(5) 第7波を向かえるにあたって高齢者施設等におけるクラスター発生時の支援研修会

- ①高齢者施設等での感染発生時の医療支援のための研修会

令和4年3月23日(木) 19:00～21:00 会場：那覇市医師会ホール＋WEB参加

参加者 57名、対象者：重点医療機関（医師・感染管理看護師）、会員

演題(1)：『京都府を支援しての沖縄県の課題』

原國 政直 先生（浦添総合病院 感染防止対策室 室長 感染管理認定看護師）

沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部 医療機関施設支援コーディネーター

演題(2)：『病院が行う介護施設等への支援について』

友利 隆一郎 先生（中部徳洲会病院 救急科）

沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部 医療機関施設支援コーディネーター

演題(3)：『かかりつけ医による高齢者施設等 COVID-19 療養者医療提供スキーム』

新屋 洋平 先生（西崎病院 総合診療科）

沖縄県医師会在宅医療・介護連携統括アドバイザー

- ②那覇市・南部6市町 合同研修会 高齢者福祉施設におけるクラスター発生防止対策

令和4年3月29日(火) 19:00～20:30 会場：ZOOMによるオンライン研修

参加者 144名、対象者：医師会員、行政、高齢者施設、介護関係者、地域包括支援センター等

演題①：『感染対策も重要ですが、BCP（業務縮小）を今のうちに！！』

原國 政直 先生（浦添総合病院 感染防止対策室 室長 感染管理認定看護師）

沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部 医療機関施設支援コーディネーター

9. 財務検討委員会

委員会を2回開催し、事業計画、予算、決算、医師会運営に関する事項について協議を重ねてきた。

- (1) 令和2年度各会計決算・事業報告の審議
- (2) 令和3年度各会計補正予算、令和4年度各会計予算・事業計画の審議

10. 広報委員会

委員会を3回開催し、主に下記の事項について協議し実施した。

(1) 医師会報

那覇市医師会報を春季号・夏季号・秋季号として3回発行した。なお、新春号は、新型コロナウイルス感染症の影響で各種会議の開催が相次いで延期・中止となったため、報告事項に乏しく、令和4年度春季号と合併号として発刊することとなった。今年度も会員諸氏のご協力もあり、より充実した会報を発行することができた。ご執筆くださった先生方に心より御礼申し上げます。なお、会報各号の詳細な内容は、紙面の都合上、勝手ながら割愛させていただきます。

(2) 医師会ニュース

那覇市医師会ニュースは第1号を平成6年3月29日に発行し、迅速な情報提供媒体として、積極的にタイムリーな情報を提供してきた。令和3年度は36回発行し、理事会速報、評議員会報告、総会報告、その他会員に有用なタイムリーな情報（小中学校定期健診について アンケート調査結果、重大ニュース、医療廃棄物処理施設の視察報告）など、通算第1142号まで発行されている（令和4年3月末時点）。今後も適時発行していきたい。

(3) 沖縄県医師会対外広報への協力

沖縄県医師会が担当している県内2紙の医学情報欄、「命ぐすい耳ぐすい」（沖縄タイムス社）、「ドクターのゆんたくひんたく」（琉球新報社）の原稿について、多くの先生方にご投稿いただいた。ご執筆くださった先生方に心より御礼申し上げます。今後ともご協力の程、宜しく願います。

(4) ラジオ番組「那覇市医師会 presents『メディカルカフェ』」

令和3年8月よりエフエム沖縄（87.3MHz）にて毎週火曜日16時25分より5分間番組を放送しており、放送開始からこれまで35回放送している（令和4年3月末時点）。今知っておきたい、知ってほしい大事な医療にまつわる話題をカフェトークのようなリラックスした雰囲気でお届けしており、リスナーより反響をいただいている。今後も聴いてホッとすると、ポジティブな気持ちになれる情報をリスナーへお届けできる番組を目指していく。

出演：玉井 修（那覇市医師会 副会長）、山城 舞子（パーソナリティ）

No.	収録日	放送日	内容
1	7/28（水）	8/3（火）	ワクチン接種はファッションが大切
2	8/4（水）	8/10（火）	モデルナとファイザーの違い
3	7/28（水）	8/17（火）	なるほどコロナワクチン問診票（前半）
4		8/24（火）	なるほどコロナワクチン問診票（後編）
5	8/4（水）	8/31（火）	副反応のお話
6	8/25（水）	9/7（火）	自宅療養について（パート1）
7		9/14（火）	自宅療養について（パート2）
8	9/15（水）	9/21（火）	コロナとココロの問題 子供の心編
9		9/28（火）	コロナとココロの問題 大人の心編
10		10/5（火）	職場のコロナ対策
11	10/6（水）	10/12（火）	医療逼迫の中でほっこりした話
12		10/19（火）	コロナ対策これからが大事
13		10/26（火）	抗原検査とPCR検査の使い分け
14	10/27（水）	11/2（火）	インフルエンザワクチンについて
15		11/9（火）	最近ちょっと気になること
16		11/16（火）	コロナ後遺症について
17	11/10（水）	11/23（火）	子どものストレスに気づくには

18			11/30 (火)	寒い冬に身体を冷やさない方法
19			12/07 (火)	RS ウイルス感染症
20		12/1 (水)	12/14 (火)	溶連菌感染症について
21			12/21 (火)	冬の腸炎
22		12/22 (水)	12/28 (火)	ヒートショック
23			1/4 (火)	心に響く言葉
24		1/6 (水)	1/11 (火)	新型コロナ オミクロン株の感染拡大について
25		1/12 (水)	1/18 (火)	新型コロナの検査法について (パート 1)
26			1/25 (火)	新型コロナの検査法について (パート 2)
27		1/26 (水)	2/1 (火)	コロナワクチン追加接種について
28			2/8 (火)	コロナワクチンの子どもへの接種について
29		2/9 (水)	2/15 (火)	コロナ感染症、これからは子どもに要注意
30			2/22 (火)	コロナ感染症、特に高齢者は要注意
31			3/1 (火)	コロナ感染症、その治療法
32		3/5 (土)	3/8 (火)	介護施設でのクラスター対策
33			3/15 (火)	巡回ワクチン接種
34		3/17 (木)	3/22 (火)	自宅でコロナをひろげない工夫 本人編
35			3/29 (火)	自宅でコロナをひろげない工夫 家族編

10. 禁煙推進委員会

令和3年11月7日(日)に予定していた国際通りトランジットモール禁煙パレードに使用する横断幕「禁煙で つかめる健康 家族の笑顔」を制作したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となった。

那覇市医師会所属の医療機関で2年に1度喫煙状況を調査しているが、今年度も会員施設の協力により100%の回収ができた。調査結果から2年前に比較し、喫煙率がこれまでで一番低い7.9%となっている。喫煙率20%を超えていた各職種が20%を切ってきたことが大きな要因である。しかしながら、女性の医療従事者喫煙率が4.1%と昨年より増加していることは残念である。医療従事者として今後も禁煙推進に努めて頂きたい。

11. 学校保健運営委員会

(1) 定期健康診断前の講習会

日 時：令和3年5月20日(木) 午後7時30分～午後8時30分

場 所：那覇市医師会 医師会ホール 4階

参加者：総数39名(会場：6名 ZOOM：33名)

1. 健診のながれ(内科検診のデモンストレーション) 担当理事 比嘉 睦 先生

2. 特別講演

演 題：「コロナ禍における小児感染症の現状と今後の課題」

講 師： 沖縄県立中部病院 小児科 荒木 かほる 先生

3. 令和2年度の健診結果の報告

(2) 小・中学校定期健康診断

例年、5月末から6月上旬に実施される那覇市小中学校定期健康診断は、新型コロナウイルス感染防止のため延期となり、下記の日程で実施された。

また、新型コロナウイルス感染防止対策として、「口腔内診察の省略」について那覇市教育委員会へ要望書を提出し承認され、運用変更をして定期健康診断を実施した。出務医師用の防護ゴーグルは、医師会にて準備し配布を行った。

小学校(前半)・・・10月20日(水)～10月22日(金)

小学校(後半)・・・11月10日(水)～11月12日(金)

中学校(前半)・・・9月29日(水)～10月1日(金)

中学校(後半)・・・10月27日(水)～10月29日(金)

(3) 高校生の定期健康診断への医師派遣

市内7つの高等学校より医師派遣依頼を受け医師を派遣した。(医師延べ数 82名)

例年、4月から5月に実施される高校定期健康診断は、新型コロナウイルス感染防止のため健診日程が延期となり、6月から11月の期間で実施された。

(4) 学校医紹介(平成3年度)

【小学校 校医協力会員】: 36名

安謝小学校: 玉井 修	城東小学校: 天久 憲治	城北小学校: 伊波 剛彦
城西小学校: 仲吉 朝史	城南小学校: 砂川 憲政	真嘉比小学校: 宮城 裕之
泊 小学校: 上原 弘行	大道小学校: 山本 明	松川小学校: 岸本 幸明
識名小学校: 喜久村 徳清	壺屋小学校: 真栄城徳秀	若狭小学校: 豊田 和正
神原小学校: 新垣 紀子	真和志小学校: 吉田 馨	与儀小学校: 山城 雄二
城岳小学校: 山城 千秋	天妃小学校: 真栄田 篤彦	開南小学校: 宮城 政剛
垣花小学校: 玉城 研太郎	小禄小学校: 大田 征夫	高良小学校: 比嘉 睦
宇栄原小学校: 屋宜 晃	松島小学校: 大城 聡	古蔵小学校: 野原 忍
上間小学校: 上原 正照	大名小学校: 玉城 仁	石嶺小学校: 森 叶
仲井真小学校: 長岡 研太郎	金城小学校: 武村 盛信	曙 小 学 校: 高良 吉広
小禄南小学校: 玻座真 博明	真地小学校: 當間 隆也	さつき小学校: 上原 剛
銘苅小学校: 宮城 聡	天久小学校: 玉那覇 康一郎	那覇小学校: 仲地 紀之

【中学校 校医協力会員】: 17名

安岡中学校: 仲本 昌一	首里中学校: 金城 盛男	真和志中学校: 浦崎 貴志
石田中学校: 白井 和美	那覇中学校: 友利 博朗	上山中学校: 長嶺 勝
神原中学校: 真志取 浩貴	寄宮中学校: 神谷 亨	古蔵中学校: 伊志嶺 恒洋
小禄中学校: 寺田 幸平	松島中学校: 前濱 宏之	城北中学校: 金井 透
鏡原中学校: 国吉 純郎	松城中学校: 久手堅 憲史	仲井真中学校: 長田 清
金城中学校: 知花 幹雄	石嶺中学校: 田名 毅	

【高等学校 校医協力会員】: 12名

那覇高校: 潮平 芳樹	首里高校: 田名 毅	真和志高校: 新垣 敏幸
泊 高校: 古波蔵 匡志	那覇商業高校: 大島 教子	那覇国際高校: 大見 洋二
沖縄工業高校: 仲宗根 和則	首里東高校: 末吉 利行	那覇西高校: 金城 幸博
小禄高校: 伊良波 隆	那覇特別支援学校: 當山 潤・我喜屋 宗雄	

【私立中高等学校】: 2名

沖縄尚学中高等学校: 嘉数 昇康 沖縄興南中高等学校: 崎原 永啓

(5) 学校心臓検診班(心電図)

【心臓検診班】(11名)

内原 栄輝・大城 康彦・我那覇 安彦・白井 和美・平良 直樹・武村 盛信・友利 博朗・友利 正行・真栄田 篤彦・中田 円仁・横矢 隆宏

(6) 第1回 那覇市医師会 学校保健事務連絡会

日 時: 令和2年1月7日(木) 午後2時~

場 所: 那覇市医師会 医師会ホール 4階

参加者: 那覇市教育委員会、那覇地区養護教諭研究会、那覇市医師会

【報告・協議事項】

1. 令和2年度 定期健康診断後のアンケート結果報告
2. 健診時の服装について

3. 健診所見一覧運用の統一について
4. 運動器検診について
5. 定期健診後のアンケート調査について
6. 派遣医師について
7. 保健調査票について
8. 感染予防対策について

(6) 令和3年度 那覇市医師会 学校保健事務連絡会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催形式を書面による開催となった。

【報告事項】

令和3年度 定期健康診断後のアンケート結果報告

(7) 令和3年度 那覇市学校保健事務連絡会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催形式を書面による開催となった。

【議 題】

1. 内科検診実施方法について
2. 運動器健診について
3. 定期健康診断に関するアンケート調査について
4. その他
5. 児童生徒の健康診断票（公簿）について
6. 就学時健康診断について
7. コロナ感染症について
8. 整理の貧困について
9. 食物アレルギーについて
10. 蟻虫検査・聴力検査について
11. 職員健康診断について

(8) 第1回 学校保健運営委員会

日 時：令和4年2月24日（木） 午後7時30分～午後8時30分

場 所：那覇市医師会 理事会室

参加者：糸数 功②・上原 弘行②・外間 英之②・友利 博朗・白井 和美②・比嘉 睦

【報告事項】

1. 令和3年度 那覇市小中学校定期健康診断実績報告
2. 令和3年度 学校健診に関するアンケート調査について
3. 令和3年度 那覇市学校保健事務連絡会について

【協議事項】

1. 令和3年度 那覇市小中学校定期健康診断における医師・看護師出務調整について
2. 令和4年度 学童定期健診前講習会 講演会テーマ（案）・講師について
3. 令和4年度 那覇市医療協議会への議題（案）について
4. 運動器検診における側弯症検診について
5. その他

(9) 那覇市「小児生活習慣病予防検診事業」の実施について

(1) 検診対象者：4年生…3, 169名（男：1,601名・女：1,568名）

対 象 者：肥満度20%以上…376名（男：222名 女：154名）

検診申込み：144名（男：84名・女：60名）

※全体に占める肥満児童の割合：11.86%

(2) 採血日程 ※「採血」と「個人面談」のセットで受診希望者を募った。

採血：(1) 7月24日（土）午前8時30分～午前10時30分

申込者69名 受診者63名

(2) 7月25日(日) 午前8時30分～午前10時30分

申込者73名 受診者62名

(3) 漏れ者採血: 7月26日(月)～7月30日(金) 受診者…7名

☆総合計: 132名

※検査項目

問診・血圧測定・身体計測・腹囲測定・血液検査

血液一般検査(赤血球・白血球・ヘマトクリット・血色素量・血小板数)

血液生化学検査(血清蛋白・中性脂肪・LDL-Cho・HDL-Cho・GOT・GPT・ γ -GTP)

空腹時血糖・HbA1c・尿酸

(3) 血液検査等後の個別指導…(医師面談・管理栄養士面談)

日 程: 8月28日(土) 午後2時～4時 面談予定者…64名

8月29日(日) 午前9時～11時 面談予定者…68名

令和3年度「中止」

※コロナウイルス感染拡大状況を考慮し、那覇市教育委員会と協議の上判断

(4) その他

今年度の検診結果については、全受診者分を那覇市教育委員会へ納品し、教育委員会から学校経由で本人へ配布することとなった。

1.3. 救急医療対策委員会

(1) 令和3年度 那覇市総合防災訓練

※ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止することとなった。

(2) 令和3年度 航空機事故対応総合訓練

航空機事故対応総合訓練は、新型コロナウイルス感染症の動向を鑑み「情報伝達訓練」及び「消火救難隊初動参集訓練」が行われ、当会は「情報伝達訓練」を実施した。

(3) 令和3年度 南部地区MC協議会

南部地区MC協議会は、新型コロナウイルス感染症の動向を鑑み書面会議とした。

(4) 長期連休期における診療支援

ゴールデンウィークおよび年末年始の会員施設の長期連休期における診療状況調査を行い、ホームページ等で市民へ周知すると共に、病診・診診連携の支援を行った。

1.4. 沖縄周産期ネットワーク協議会

平成8年8月にスタートした沖縄周産期ネットワーク協議会も25年目を迎え、現在では約50カ所医療機関と県内4施設の「助産所」が会員として構成している。

平成30年3月、『第7次医療計画』に「周産期医療整備計画」が初めて盛り込まれ当ネットワーク協議会より3名の委員が参画している。しかし、その後なんら行動計画が実施されずに「中間評価」で進捗度は「ゼロ%」との報告となっている。

そのため、役員会では周産期医療がこれまで以上に疲弊することが無いように、周産期現場の課題や問題点等に積極的に取り組んでいく事を確認した。これらを進捗させるには、事務局をどこが担うのが重要であり、現状は事務局が不在状態にある。そこで県庁・地域保健課や那覇市医師会を交えて協議し、最終的には県庁・地域保健課が主管として対応することが確認された。

進捗度「ゼロ%」を打破すべく、「情報収集: 定期的なモニタリングによる現状把握」を開始した。また、コロナ禍における医療施設の業務の危機管理対応として「業務維持計画(BCP)」を作成し、配布をできるように取り組んだ。

毎年7月に定期総会を開催しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために令和3年度も「紙面表決」方式で開催した。

新型コロナウイルス感染症の感染が危惧され、思うように会議等が開催できずにあったが、那

那覇市医師会のZOOM会議を借用し、役員会等が開催できるようになった。

(1) 定期総会（令和2年度収支決算及び令和3年度収支予算）について

会場：紙面表決

次第：1. 令和2年度 収支決算報告及び会計監査報告について

2. 令和2年度 会計監査報告について

3. 令和3年度 事業計画（案）及び収支予算（案）

（紙面表決）慎重に集計したところ、FAX受診件数が「54件」すべてが「議案を承認」するとの回答をいただきましたので、定款の則り「承認」された。（会員施設数：70件）

また、規約変更：役員数19名、新役員の変更についても了承となった。

(2) 役員会の開催について

① 第1回 役員会

日時：令和3年12月21日（火） 午後6時30分～

会場：ZOOM会議

報告：1. 各施設・近況報告（新型コロナウイルス感染症（COVID19）の対応も含めて）

（①スタッフ数 ②病床の増減 ③品胎等 ④へり添 ⑤近医の状況 ⑥COVID-19 ⑦その他）

2. 総会 書面評決 結果報告

3. 沖縄産婦人科新型コロナウイルス対策チーム（ワーキンググループ：活動報告）

4. 周産期退院支援者ネットワーク会議報告（11月18日 琉球大学主催：呉屋英樹先生、吉田朝秀先生）

5. 小児・周産期リエゾン災害ミーティング（12月16日）

6. 「OPEN」の改修について状況説明

（沖縄産婦新コロ対策WG：銘苅桂子先生、吉田朝秀先生）

協議：1. 「OPEN」の改修について状況説明（沖縄産婦新コロ対策WG：銘苅桂子先生、吉田朝秀先生）

2. 新生児研究会、周産期症例検討会の開催見通し

3. 新生児蘇生法講習会の開催見通し（屋良先生）

4. ケイソー（ビタミンK）内服方法の学会提言への対応

5. 早産児を対象とした親子健康手帳の作成（情報）

(3) 症例検討会について

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催できずにいる。

(4) 新生児蘇生講習会について

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催できずにいる。

15. 病診連携委員会

病病・病診・診診連携の一環として、お互いの病院・診療所間の情報交換が、近年ますます重要になっていることから、代表として、病院施設10病院（天久台病院、おもろまちメディカルセンター、浦添総合病院、大浜第一病院、沖縄協同病院、南部医療センター・こども医療センター、沖縄赤十字病院、大道中央病院、豊見城中央病院、那覇市立病院）と診療所施設委員を含め病診連携委員会を構成し、よりよい連携を目指して活動している。

令和3年度もこれまでに確立された、那覇市医師会の病診連携が新型コロナウイルス対策で生かされ、病院長、各施設長が積極的に会議に参加し、感染症対策会議が行われた。

また、ゴールデンウィークの医療提供体制確保のため、会員および基幹病院への診療予定のアンケート調査を行い、県のホームページに診療情報が掲載された。

(1) 病診連携懇親会について

例年5月頃に開催している「病診連携懇親会」は、新型コロナ感染拡大の状況を鑑み、令和

3年度は「開催中止」となった。

(2) 病診連携委員会について

新型コロナ感染拡大の状況を鑑み、会議（1月開催予定）を中止とした。

(3) 医業支援システムについて（愛称：N I S事業）

平成29年度より「医業支援システム」を立ち上げ、依頼に応じて種々対応を行っている。

(4) 病診連携情報誌について

病診連携推進のため「病診連携情報誌」を発行している。最新版は令和3年12月に発刊した。

16. 学術・生涯教育委員会

今年度の認定講演会回数は8回を数えた。各病院で行なわれている講演会や症例検討会にも引き続き日医生涯教育認定参加証の発行を行っている。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の出現により社会的活動が自粛となり、多くの講演会が感染拡大防止の観点からWEB配信での開催となった。

- ① 日時：令和3年 4月15日（木） 午後7時00分～ 午後8時30分
会場：那覇市医師会 4階ホール＋WEB参加
演題：『新型コロナワクチン接種時のアナフィラキシーの対応』
講師：沖縄赤十字病院 救急部長 佐々木 秀章 先生
参加者：137名 （①ホール：17名） ②WEB：120名）
- ② 日時：令和3年 5月13日（木） 午後7時20分～ 午後8時40分
会場：理事会室（配信によるWEB開催）
演題：『不眠症治療にレンボレキサントはどのように役立つか～症例を中心に～』
講師：なおまさクリニック 院長 直正 哲司 先生
参加者：39名 （医師：29名、薬剤師：6名、その他：4名）
- ③ 日時：令和3年 8月12日（木） 午後7時30分～ 午後8時30分
会場：理事会室（配信によるWEB開催）
演題①：『TAVI治療の新たな適応拡大
～外科弁へのValve in Valve・透析患者への適応拡大～』
講師：琉球大学病院 第二外科 診療准教授 永野 貴昭 先生
演題②：『Low risk適応拡大で変わるAS治療
～新たな適応患者像とかかりつけ医の役割の変化～』
講師：琉球大学病院 心臓血管低侵襲治療センター 特命教授 岩淵 成志 先生
参加者：11名 （医師：8名、演者：2名、座長：1名）
- ④ 日時：令和3年 9月 9日（木） 午後7時00分～ 午後8時00分
会場：理事会室（配信によるWEB開催）
演題：『片頭痛治療のUp Date』
講師：那覇市立病院 脳神経内科 医長 宮城 哲哉 先生
参加者：21名 （医師：16名、薬剤師3名、講師：1名、座長：1名）
- ⑤ 日時：令和3年 11月 11日（木） 午後7時00分～ 午後8時00分
会場：那覇市医師会 4階ホール＋WEB参加
演題：『ARNIへの期待 ～ 心不全および高血圧の患者さんに対して ～』
講師：沖縄赤十字病院 循環器内科 第一部長 砂川 長彦 先生
参加者：31名 （①ホール：3名 ②WEB：28名） 医師22名 医療従事者9名

- ⑥ 日時：令和4年 1月 13日（木） 午後7時30分～ 午後8時30分
 会場：理事会室（配信によるWEB開催）
 演題：『心房細動の見つけ方、治療法』
 講師：那覇市立病院 循環器内科 医長 中田 円仁 先生
 参加者：13名（医師：10名、看護師1名、講師：1名、座長：1名）
- ⑦ 日時：令和4年 2月 10日（木） 午後7時00分～ 午後8時30分
 会場：理事会室（配信によるWEB開催）
 演題：『抗血小板薬と高出血リスク』
 講師：那覇市立病院 循環器内科 医長 中田 円仁 先生
 演題：『～逆流性食道炎治療のニューノーマル～ 診療ガイドライン2021とボノプラザン』
 講師：大阪医科薬科大学 第二内科 教授 樋口 和秀 先生
 参加者：22名（医師：19名、講師：2名、座長：1名）
- ⑧ 日時：令和4年 3月 10日（木） 午後7時00分～ 午後8時30分
 会場：理事会室（配信によるWEB開催）
 演題：『市立病院における神経疾患の状況』
 講師：那覇市立病院 神経内科 科長 宮城 哲哉 先生
 座長：沖縄赤十字病院 神経内科 部長 嘉手川 淳 先生
 演題：『パーキンソン病早期発見のポイント
 —非専門医にもリアル二刀流を目指して頂く為に—』
 講師：大浜第一病院 神経内科 部長 城本 高志 先生
 参加者：47名（医師：21名（講師・座長含む）、コメディカル：26名）

17. 糖尿病治療検討委員会

糖尿病患者や腎臓病患者の診療連携の構築を目指して、平成20年度に「糖尿病治療検討委員会」を立ち上げて以来、本委員会では会員に対して積極的に情報提供や糖尿病関連の演題会を頻回に開催（年10回）し、糖尿病に関する関心度を高め、医療連携推進、治療内容の標準化に取り組んできたが、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、軒並み講演会が中止や延期に追い込まれていった。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中、不要不急の外出を控えるなどにより、運動の機会が減り高齢者が運動機能の低下に伴うフレイルに陥る可能性が高くなることから”お家で出来る”運動療法について企画した。

大浜第一病院メディカルフィットネス科・リハビリテーション科にアドバイスをいただき、高齢者の筋力維持に効果のある筋力トレーニングを厳選いただき、運動療法の説明ビデオを制作した。運動療法の説明映像は、インターネット（YouTube）で公開した。また、インターネットなどを利用できない高齢者のため、自宅に掲示して運動の内容を確認しながらトレーニング出来るようにポスターを制作して希望者へ配布することとした。

会員施設へポスターの配布とともにポスターの活用方法と呼び掛けるための講演会をWEB（オンライン）配信にて行い、あわせてフレイル予防のための食事指導を組み合わせ、テーマを“フレイル予防にも効果あり！新型コロナ禍における糖尿病治療”として開催した。

開催日時：令和4年3月30日（水） 午後7時00分～8時30分 ・WEB配信

※ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のためWEB配信にて開催した。

司会：那覇市医師会 常任理事 田名 毅 先生

テーマ：『フレイル予防にも効果あり！新型コロナ禍における糖尿病治療』

～お家で出来る食事と運動～

開会挨拶：ながた内科クリニック 院長 長田光司 先生

1) “新型コロナ禍だからこそ” 食事・運動の重要性

大浜第一病院 糖尿病センター長 高橋 隆 先生

- 2) お家で出来る・食事指導のポイント
大浜第一病院 管理栄養士 安里 恵美子 氏
- 3) お家で出来る・運動指導のポイント
 - A) 日常生活で役立つ・運動の効果
大浜第一病院 理学療法士 末長 拓也 氏
 - B) “お家で出来る”・運動療法の指導ポイント
大浜第一病院 健康運動指導士 我那覇 隆志 氏

18. 那覇市CKD（慢性腎臓病）病診連携推進会議

那覇市CKD（慢性腎臓病）病診連携推進会議を2回開催し、CKD（慢性腎臓病）関連演題会も2回開催した。また、那覇市では「CKDニュースレター」を年1～2回発行しており、当会経由で会員施設への配布協力を行っている。

活動名称を「CKD78（ナハ）」と改名し、CKD登録医は66名、腎臓診療医の登録は34名を数えるまでに賛同者を増やし充実発展している。

昨年より延期となっていた第3回目「地域別症例検討会」を新型コロナウイルス感染症の感染対策を取りながらZOOMを用いてハイブリッド方式で開催することができた。

また、学術講演会も昨年同様、ハイブリット方式で下記の講演会が開催できた。

同事業については、那覇市医師会としても積極的に取り組み、那覇市民の健康度向上に寄与していく。

（1）那覇市CKD（慢性腎臓病）病診連携推進会議について

①第1回 那覇市CKD病診連携推進会議

日時：令和3年7月21日（水） 午後7時00分～8時00分

場所：那覇市保健所 3階 健康増進室

出席者：田名 毅(会長)・比嘉 啓・宮良 忠・糸数 昌悦・真栄城 修二・屋宜 宣治・谷川 聖・仲宗根 正(副会長)

事務局：(那覇市) 又吉 明子 東 英二 田本 亜希 高良 めぐみ

(那覇市医師会事務局) 前泊 政次

【報告事項】事務局からの報告と確認事項

- 1) データヘルス計画中間評価について
- 2) 令和3年7月時点のCKD登録医、腎臓診療医数の報告
- 3) 紹介件数について
- 4) 新規透析導入数について

【協議事項】令和3年度のCKD推進事業について

- 1) 令和3年度症例検討会について
- 2) CKDシール&カードの配布、普及について
- 3) 今年度の取り組み事項について

【今後の取り組みについて】

- 1) 8月以降CKDシール、カード配布
- 2) 9月 ニュースレター14号発行予定
- 3) 10～11月 アンケート実施（CKDシールの活用についてを含める）
- 4) 2月 第2回CKD病診連携推進会議予定
- 5) 2月頃 ニュースレター15号発行予定

②第2回 那覇市CKD病診連携推進会議

日時：令和4年 2月17日（木） 午後7時30分～

場所：那覇市保健所 3階 健康増進室

出席者：田名 毅(会長)・比嘉 啓・宮良 忠・糸数 昌悦・友利 博朗・屋宜 宣治・谷川 聖・仲宗根 正(副会長)

事務局：(那覇市健康増進課) 又吉 明子 東 英二 高良 めぐみ 田本 亜希

(那覇市医師会事務局) 前泊 政次

【報告・協議事項】事務局からの報告と協議事項

- 1) CKDシール、カードの取り組みについて
- 2) 地区別症例検討会について

3) 新規透析導入者について

4) 次年度計画について

【3月以降の取り組みについて】

1) 3月上旬 ニュースレター15号発行

2) 3月 市内の調剤薬局へポスター&チラシ郵送

3) 6月16日 薬剤師さん向けの講演会

4) 6～7月 第1回CKD病診連携推進会議

(2) 学術講演会について

①第1回 那覇市CKD対策講演会 ～CKD78(那覇)

日時：令和3年11月25日(木) 19:00～20:00

場所：沖縄ハーバービューホテル 2階 「白鳳」

出席者：66名(会場：20名/WEB：46名)

開会の挨拶：那覇市保健所長 仲宗根 正 先生

那覇市医師会長 山城 千秋 先生

座長：医療法人麻の会 首里城下町クリニック第一 院長 田名 毅 先生

演題：「CKD78の新たな取り組み

～CKDカード/シールを活用した多職種連携～」

講師：医療法人かねや 屋宜内科医院 院長 屋宜 宣治 先生

(3) CKD地区別症例検討会について

昨年度、コロナの影響で延期となっていた地区別症例検討会の3回目を開催した。

また、今回よりZOOMでの配信も可能となりハイブリッド開催した。

①第3回 CKD地区別(久茂地)症例検討会

日時：令和3年12月2日(木) 19:30～21:00

場所：那覇市保健所 3階 健康増進室+WEB参加

症例提示：小禄 雅人 先生 (新健幸クリニック副院長)

①CKD関連の症例検討

②情報交換

出席者：18名(講師、那覇市、事務局、WEB参加7名含む)

19. 感染症・予防接種委員会

今年度より同委員会は感染症対策を宮城政剛理事に、予防接種関連を比嘉睦理事にそれぞれ分けて活動を行ってきた。

(1) 予防接種関連について

那覇市実務者会議について、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面での会議となった。協議事項は以下のとおりである。

①2022年度(令和4年度)個別予防接種委託料金及び高齢者肺炎球菌委託料金の調整

(2) 感染症発生への対応について

昨年度は「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)」対策対応に始まり、それは今年度以降にも継続的な対応に終始する事になった。

会員施設に対しては、厚労省や県庁、那覇市保健所や日本医師会から届く関連情報を迅速にお届けすることに尽力すると同時に発信した情報は、当会ホームページにアップすることで再現性を併せ持つような情報提供体制を構築している。今年度の会員向けに発信した「新型コロナ・関連情報」は308号を数えている。

20. うつ病対策検討委員会

沖縄県の自殺者は、平成10年以降、毎年300名を越えるなど今や社会問題となっている。

今年度も沖縄県の自殺対策事業委託を受けることが確定(11年目)したことや「うつ病対策」を講じる機運の高まりを感じている。

委員会では『スペシャリスト（多職種）の連携を目指して』を命題に取り組んでいる。
今年度も、「ラジオ番組」にて『自殺対策対応』を訴える企画について」も県の補助事業として開催した。

(1) 「ラジオ番組」にて『自殺対策対応』を訴える企画について

放送日時：令和4年 2月 2日（水） 午後2時30分～4時40分

番組名：ラジオ沖縄「華華天国（DJ：竹中知華）」（周波数・AM:864KHz/ワイドFM:93.1MHz）

テーマ：「いま、子どもたちによりそえていますか？」

出演時間帯：① 午後 2時45分～ 2時53分（約8分）頃

② 午後 3時35分～ 3時43分（約8分）頃

出演者：① 玉井 修 先生（那覇市医師会・副会長／曙クリニック）

② 稲田 政久 氏（沖縄国際大学 臨床心理士・公認心理師）

③ 町田 久乃 氏（那覇市教育委員会 教育相談グループ主幹 臨床心理士）

④ 金城 真理枝 氏（那覇市地域保健課 精神保健グループ 副参事）

番組へのメッセージ宛先：

① FAXの場合・098-869-2202

② メールの場合・hanaten@okinawa.co.jp

番組へのメッセージ件数：①メール・57件 ②FAX・0件

2.1. 会員福祉

(1) 「第20回」記念写真集について

第20回の開催を記念し製作を進めていた写真集についてコロナ禍で少々時間を要したが無事発刊することができた。20年の間に写真の質が格段にレベルアップし、写真一つ一つに撮影者の想いがこもっており良い写真集に仕上がった。

(2) 第21回チャリティー写真展（交通遺児育成資金造成）

当初の目的である「交通遺児育成基金」を果たすべく、下記日程にて開催した。但し、「レセプション」は感染拡大防止のため「中止」とした。

「ナイスタイトル賞」も7年目となり、先生方の出品タイトルも楽しみとなってきた。寄付金総額も「5,873,249円」と多くの浄財をいただき、感謝に堪えません。

期 間：令和3年11月 2日（火）～ 11月 7日（日） （6日間）

会 場：那覇市民ギャラリー・第一展示場 （パレットくもじ6階）

(1) 来場者数 … 290名 （1日平均：48名）

(2) 出品作品数 … 91点 （出品者数：24名・出品施設数：18施設）

(3) 販売枚数及び売上金額 … 128,000円 （64点×2,000円）

(4) 会場募金箱 … 30,822円

(5) 募金協力者及び金額 … 327,000円

(6) 募金合計額（3+4+5） … 468,923円

(7) 寄付金総額（第1回～第21回） … 5,873,249円

(8) ナイスタイトル賞 … 第1位「オカリナ」（安里瞳先生／安里眼科おもろまち駅前）

(3) ビアパーティー IN ロワジールホテル

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

(4) アットホーム懇親会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

(5) 健康ウォーキング大会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

(6) 医療廃棄物処理の視察

医療廃棄物・産業廃棄物処理を適正に行っていくため、会員施設からの問い合わせに対し、収集運搬、中間処理、最終処分等の業者紹介を行った。また、各処理業者（沖縄県医療廃棄物事業協同組合、久和創建）の処理状況について年1回の現場確認を行った。

（7）女性部の活動支援

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

II 検診事業

2021年度（令和3年度）の検診事業収入は約6億2千万円、対前年度比+14%の結果となった。新型コロナウイルス感染症の流行期ではあったが、標準的防護策の徹底により検診業務が原因となるコロナ発症はなく、受診者には健康診断を通して安心・安全を届けることができた。令和3年3月には財団法人JKAの補助事業により、新たに胃胸部併用X線デジタル検診車が納車され、胃部X線についてはすべてデジタルに移行した。

令和2年度から個別大腸がん検診の精密検査受診率を向上させるため運用の変更を行った。それにより個別大腸がん検診については、受診者の行動変容に繋がることができ精密検査受診率が向上する結果となった。

予防接種受託事業では、他地区医師会と同等の委託料金で開始することが出来た。引き続き委託料金については、各地区医師会の委託料金を比較しながらスムーズな運用に努める。

那覇市から受託している在宅医療・介護連携推進事業（ちゅいしーじー那覇）では、開設から5年目が終了した。コロナ禍の中高齢者施設への新型コロナワクチン巡回接種も行い、予測不能な事態にも対応する事が出来た。

医療・介護連携の課題については、作業部会で重点的に議論した。市民フォーラムではコロナ禍の中、昨年同様ラジオ特番を通して市民・県民の方へ「人生会議」について、親しみやすい内容で身近に感じていただけるよう工夫し伝えることができた。

また令和3年度も「在宅医療・介護スクラム塾」を開催し、地域の医療・介護のリーダーを養成し、住民、医療・介護関係者のニーズに則した取り組みを企画し、連携の質の向上や強化に取り組むことが出来た。

那覇市医師会生活習慣病検診センターとしては、令和3年7月10日（土）に、毎年九州各県で開催される「九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会」を当会が主幹となり開催し、同協議会初の完全WEB開催で会を終了する事が出来た。

残念ながら令和3年度についても人材育成においては、コロナ禍により「職員交換研修制度」「全国労働衛生団体連合会」等の研修会は中止を余儀なくされた

1. 生産性について

（1）前年度収入の比較（税込）

（単位：千円）

No.	項 目	H30 年度	R01 年度	R02 年度	R03 年度	前年差	前年比
1	一般健（検）診	247,310	259,266	251,747	306,027	54,280	121.7%
2	人間ドック健（検）診	32,748	32,176	37,617	41,628	4,011	110.7%
3	社保成人病健（検）診	136,839	150,482	148,311	156,710	8,399	105.7%
4	受託収入	119,219	122,542	107,460	117,541	10,081	109.4%

5	学童検診	4,531	4,643	3,795	4,194	399	110.5%
6	保険診療	1,266	1,177	2,020	1,793	△227	88.8%
	合 計	541,913	570,286	550,950	627,893	76,943	114.0%

(2) 事業所健診等による健診受診者数及び各種健（検）診受診者数 (単位：人)

No.	項 目		H30 年度	R01 年度	R02 年度	R03 年度	前年差
1	事業所健診	施設内	11,109	11,836	11,728	11,411	△317
		巡回	12,136	11,983	10,826	11,403	577
2	協会けんぽ	施設内	5,464	6,064	6,041	6,080	39
		巡回	2,135	2,150	1,761	2,282	521
3	人間ドック	施設内	1,036	1,061	1,201	1,368	167
		巡回	-	-	-	-	-
4	特定健診	施設内	1,065	1,171	1,013	1,155	142
		巡回	1,943	1,905	214	1,549	1,335
5	胃がん検診	施設	630	641	535	624	89
		巡回	288	320	178	209	31
6	大腸がん検診	施設内	845	922	756	897	141
		巡回	676	648	103	558	455
7	肺がん検診	施設内	870	902	762	914	152
		巡回	995	922	154	761	607
8	乳がん検診	施設内	477	511	421	453	32
		巡回	3,189	2,880	2,452	2,456	4
9	子宮がん検診	施設内	467	469	369	426	57
		巡回	3,170	3,518	2,451	3,205	754
10	肝炎ウイルス 検診	施設内	65	83	84	64	△20
		巡回	32	84	4	56	52
11	小児生活習慣病予防検診		97	107	-	132	132
12	学童心臓検診		2,241	2,795	2,596	2,498	△98
13	保育園検診		-	-	-	-	-

(3) 受託健診（那覇市がん検診等）による健（検）診受診者数 (単位：人)

No.	受託健診（特定・がん検診等）	H30 年度	R01 年度	R02 年度	R03 年度	前年差
1	特定健診	21,948	21,375	22,362	18,900	△3,462
2	胃がん検診	1,167	1,098	1,112	957	△155
3	大腸がん検診	4,344	4,265	4,582	3,851	△731
4	肺がん検診	3,602	3,488	3,519	2,946	△573
5	乳がん検診	1,598	1,498	1,315	1,272	△43
6	子宮がん検診	3,463	3,249	3,038	2,931	△107
7	肝炎ウイルス検診	669	840	914	788	△126

No.	沖縄県産婦人科医会 共催検診	H30 年度	R01 年度	R02 年度	R03 年度	前年差
1	子宮がん検診（組合・健保等）	3,475	3,319	3,481	3,542	61
2	乳がん検診（組合・健保等）	2,976	2,796	2,829	2,900	71

2. 九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会の開催

同協議会は那覇市医師会主催としては32年ぶりの開催となる。開催に向けて山城会長を中心に準備委員会を8回開催し準備を進めていたが、残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大の影響により現地開催は叶わず、令和3年7月10日（土）に沖縄県医師会館を借用しての完全WEBでの開催となった。

また今回は社会情勢を鑑み「新型コロナウイルス感染症」に特化した題材を中心に、特別講演、各分科会・管理者会を実施し九州各県の協同利用施設48施設の参加があり開催された。

開催された日程・内容については以下の通りとなる。

開催日：令和3年7月10日（土）

会 場：沖縄県医師会館

連絡協議会会長 山城 千秋（一般社団法人那覇市医師会 会長）

連絡協議会実行委員長 玉城研太郎（一般社団法人那覇市医師会 理事）

時 間	行 事
13：20～16：00	WE B 受付
14：00～14：10	開会行事、本日の日程について
14：15～14：45	特別講演Ⅰ 演 題 「最近の医療情勢と日本医師会の考え方」 講 師 日本医師会会長 中 川 俊 男
14：50～15：20	特別講演Ⅱ 演 題 「沖縄観光の現状と未来 ～持続可能な観光地を目指して～」 講 師 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー会長 琉球大学国際地域創造学部客員教授 下 地 芳 郎
15：30～16：40 (70分)	第1分科会（医師会病院部門） ①テーマ 「当院の災害医療の取り組み」 発表者 都城市郡医師会病院 救急科医長 名越 秀樹 ②テーマ 「沖縄赤十字病院における新型コロナウイルス感染症診療」 発表者 沖縄赤十字病院 副院長兼呼吸器内科部長 赤嶺 盛和
	第2分科会（検査・検診部門） ①テーマ 「新型コロナウイルス遺伝子検査の体制整備と現状報告」 発表者 佐賀県健康づくり財団 臨床検査課 課長 北島 理恵 ②テーマ 「中部地区医師会WE B サイトおよび コロナバスター中部について」 発表者 中部地区医師会 副会長 松嶋 顕介 ③テーマ 「検査センターPCR検査について」 発表者 中部地区医師会検診センター 臨床検査技師長 池端 郁子

	第3分科会（高齢社会事業部門） ①テーマ 「高齢者施設におけるクラスター対策について」 発表者 中部地区医師会 理事 新屋 洋平 ②テーマ 「被保護高齢者世帯の巡回訪問からみえる現状と課題 ～被保護高齢者訪問サポート強化事業の取組～」 発表者 福岡市医師会 在宅事業部在宅医療課 在宅支援主任 福元 綾子 ③テーマ 「高齢者施設における COVID-19 クラスター発生予防の取組 ～平時における施設巡回感染管理指導～」 発表者 那覇市医師会 在宅医療・地域包括ケア 担当理事 嘉数 朗
16：50～17：50 (60分)	各部門管理者会 「新型コロナウイルス感染症による影響について」 (アンケート結果をもとに意見交換) ・医師会病院部門 ・検査・検診部門 ・高齢社会事業部門
18：00～18：30	閉会行事

3. 生活習慣病検診センター運営委員会

定例で2ヶ月に1回偶数月の第1月曜日に開催。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響の中で6回開催し内4回は紙面協議での開催となり検診センターの運営に関する事項について協議した。主な内容を以下に示す。

(1) 新型コロナワクチン接種業務に伴う健診事業の変更について

新型コロナウイルス感染症拡大により、検診センターでも社会情勢を鑑み、平日午後の検診業務を停止しワクチン接種業務を行う旨を報告し了承された。

(受診制限期間：2021年6月21日(月)～当面の期間の午後)

(2) 特定健診及び各がん検診(胃・肺・大腸・子宮・乳)の精度管理報告会について

年1回開催の特定健診及び各がん検診の精度管理報告会は、今年もコロナ感染症予防対策のため、一同に会しての開催は見送り今回も書面にて対応することで決定された。

(3) 婦人検診車(子宮がん検診車)の整備および検診部機器整備計画について

検診センターの今後の機器整備に関して報告があった。婦人検診車(子宮がん検診車)については23年間使用しており、老朽化が著しく早急な整備が必要なため、令和4年度で整備する旨の報告があった。また検診センター内の機器についても、導入より15年以上経過している機器を含め、今後の機器入替計画案が事務局より提出され承認された。

4. 生活習慣病検診センター読影委員会

【胃部読影委員会】27名

玻座真博明、又吉亮二、友寄英毅、中山良有、金城治、平良朝秀、大城淳、金城幸博、

我喜屋出、前田企能、仲吉朝史、古謝将常、山城雄二、佐久川紀彦、宮城剛、島袋隆志、長嶺信夫、川上祐子、宮城聡、仲地紀茂、宮城政剛、上原剛、白井和美、玉井修、森田光、仲松元次郎、川上浩司

【眼底検査読影委員】 8名

大城隆、金城美恵子、新垣均、新屋雄二、外間英之、石川修作、久志雅和、名城知子

【マンモグラフィ読影委員会】 14名

屋良勲、大城淳、鎌田義彦、大嶺靖、金城治、高良光雄、上原協、白石牧子、宮城淳、玉城信光、佐久本哲男、新里仁哲、玉城研太郎、滝上なおこ

【乳腺エコー検査読影委員】 3名

上原協、玉城研太郎、滝上なおこ

【心エコー検査読影委員】 1名

岩田拓也

【肺がん検査読影委員】 5名

喜屋武邦雄、豊田和正、兼島洋、久手堅憲史、嘉数光一郎

5. 那覇市在宅医療・介護連携推進事業

平成29年4月より那覇市から下記委託内容を受け、那覇市在宅医療・介護連携事業を推進している。

- (ア) 地域の医療・介護の資源の把握
- (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援
- (オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- (カ) 医療・介護関係者の研修
- (キ) 地域住民への普及啓発
- (ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

今年度は、主に新型コロナウイルス感染症関連を重点的に取り上げ、那覇市高齢者施設等への新型コロナウイルスワクチン巡回接種（6/1～8/18、1/20～2/28）や、那覇市や関係職能団体と協働し、新型コロナウイルス感染症に伴う課題の改善に取り組んだ。また従来からの研修会や会議等は、集合からオンラインへ切り替えるなど形態を変えながら継続実施した。

(1) 医療・介護おたすけマップの作成

県民や医療・介護関係者がいつでもどこでもわかりやすい医療・介護情報にアクセスできることを目的に、北部地区医師会、中部地区医師会、南部地区医師会と協働し、沖縄県統一在宅医療・介護連携資源マップの作成に取り組んだ。次年度公開の予定である。

(2) 那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会及び作業部会

那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会において事業全体やACPの市民普及啓発に関する協議、また下記の作業部会の進捗・報告を行った。

①那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会（2回）

②作業部会B『介護関連施設と医療との連携』（2回）

『新型コロナウイルス感染症第6波の備え』および“ちむぐくルール”研修会』参加者86名（49施設）場所：那覇市医師会・4階ホール、ZOOM』を開催した。

『有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅ACP・ちむぐくルール出前講座』

参加者：38名 場所：セントラル・ケアビレッジ ユートピア沖縄を開催した。

③作業部会C『ACP普及啓発』（1回）

『人生会議の日スペシャル 映画『ピア』 特別上映会 ～在宅医療を通して自分らしさを考える～』参加者：28名（市民3名）場所：那覇市医師会・4階ホールを開催した。

④作業部会E『身寄りがいない方への意思決定支援作業部会』（1回）

『身寄りがいない方への意思決定支援研修会～身寄りがいない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドラインについて～』参加者111名 場所：ZOOMを開催した。

（3）那覇市在宅療養支援診療所連絡会

在宅療養の核となる在宅療養支援診療所による那覇市在宅療養支援診療所連絡会を約2ヶ月に1度の割合で在宅医療に関する問題点について協議した。（6回）

（4）那覇市医師会 医療・介護連携運営委員会

事業の進捗状況や今後の方向性について協議を行った。（3回）

（5）医療・介護関係者向け研修会

多職種連携研修会「那覇市在宅医療・介護スクラム塾」等、医療・介護関係者を対象とした下記研修会を実施し、多職種間でのディスカッションを通して連携強化を図った。

また、今年度は現場のニーズに沿った新型コロナウイルス感染症に関する研修会にも多く取り組んだ。

【在宅医療における多職種連携研修会：那覇市在宅医療・介護スクラム塾】

司会進行・座長：嘉数朗、長嶺勝（那覇市医師会 在宅医療・地域包括ケア担当理事）

回	開催日	テーマ・発表者	参加数
1	令和3年 5月20日	講義：『認知症』 講師：城間クリニック 院長 城間 清剛 氏	115名 (201回)
2	令和3年 7月15日	講義：『がん緩和ケア』 講師：名城大学 助教 緩和ケア認定看護師 吉澤 龍太 氏	79名 (113回)
3	令和3年 9月16日	講義：『褥瘡』 講師：那覇市立病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 仲村 朋高 氏	69名 (202回)
4	令和3年 11月18日	講義：『リハビリテーション』 講師：かなさん内科クリニック 理学療法士 松川 英一 氏	55名 (107回)
5	令和4年 1月20日	講義：『摂食嚥下・口腔ケア』 講師：高良歯科医院 歯科医師 高良 孔明 氏	69名 (186回)
6	令和4年 3月17日	講義：『栄養』 講師：沖縄県栄養士会 管理栄養士 吉田 陽子 氏	63名 (131回)

※（）内は事後配信視聴回数

【その他研修会】

回	開催日	研修名・テーマ・発表者	参加数
1	令和3年 4月12日	【医療職から介護職向け研修会】＊オンライン テーマ：高齢者福祉施設におけるクラスター発生防止対策研修会 講師：張 慶哲 氏	193名
2	令和3年 6月13日	【多職種連携研修会】＊オンライン テーマ：COVID-19の在宅療養・入院待機者への訪問看護 講師：藤田 愛 氏	25名
3	令和3年 9月22日	【医療職から介護職向け（一般住民）研修会】＊オンライン テーマ：『那覇市介護予防・日常生活総合事業における新型コロナウイルス感染症対策研修会』	約90名

		講 師：上間 一樹 氏	
4	令和3年 10月20日	【その他研修会】＊オンライン テーマ：『“新型コロナウイルス感染症第6波の備え” および “ちむぐくルール” 研修会』 講 師：豊川 貴志氏、佐々木 秀章氏、嘉数 朗氏、 高良 孔明氏、與那嶺 康氏、上原 善周氏	86 名 (49 施設)
5	令和3年 11月・12 月	【介護職から医療職向け研修会】＊動画配信 テーマ：『介護保険制度・地域リハビリ教室等に関する』 那覇市ちやーがんじゅう課×ちゅいしーじー那覇制作	視聴回数 57 回
6	令和3年 11月11日	【その他研修会】＊オンライン テーマ：『身寄りがいない方への意思決定支援研修会』 講 師：寺田 明弘 氏	111 名
7	令和3年 12月1日	【その他研修会】＊オンライン 『ピア』 特別上映会 ～在宅医療を通して自分らしさを考える～ シンポジスト：玉井 修氏、宮城 愛子氏、吉田 陽子氏、 新垣 佳子氏	28 名 (市民3名)
8	令和3年 12月13日	【その他研修会】＊オンライン 有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅 ACP・ちむぐく ルール出前講座 講 師：喜納 美津男 氏	38 名
9	令和4年 3月29日	【その他研修会】＊オンライン テーマ：『高齢者福祉施設におけるクラスター発生防止対策 ～感染対策も重要ですが、BCP（業務縮小）を今のうちに!!～』 講 師：原國 政直 氏	144 名

(6) 令和2年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業『市民フォーラム』

今年度は、新型コロナウイルス感染予防の観点から大規模会場の使用は控え、ラジオ番組での普及啓発に切り替えた。沖縄県で視聴率が高い人気番組である『ハッピーアイランド』へ出演し、幅広い年齢層へ『人生会議』について発信し関心を高めた。

日 時：令和3年10月13日（水）11時30分～13時55分

場 所：エフエム沖縄

テーマ：『人生会議スペシャル～今感じたい、きずな、ぬくもり～』

出 演：玉井 修、喜納 美津男

司 会：多喜 ひろみ、伊藝 梓

(7) 認定審査会への委員派遣について

平成12年4月より「介護保険制度」が開始されたのを受けて、会員の協力により那覇市介護認定審査会に委員を派遣している。

【那覇市介護認定審査会】 任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日（16名）

佐久本 哲男・金城 幸博・山代 寛・国吉 純郎・玉城 清嗣・新垣 安男・金井 透
馬場 基男・吉井 淳・久田 友治・仲地 紀茂・上間 一・高良 英一・東 朝幸
新垣 均・砂川 憲政

(8) 障害者自立支援法に基づく障害程度区分認定審査会の審査医派遣について

平成18年4月より「障害者自立支援法」が施行され、同制度発足に伴い「那覇市障害者介護給付費等審査会」が設立された。令和2年度および令和3年度は、2名の先生方に審査医としてご協力いただいている。

山根 邦夫・国吉 和秀

(9) 那覇市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会審査部会の委員及び嘱託医の推薦について

那覇市より、平成25年度の中核市移行に伴い、身体障害者手帳の認定業務を行うことから標記審査部会（肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、心臓機能障害、じん臓機能障害、呼吸器機能障害、肝臓機能障害）の委員及び嘱託医の推薦を行ない、令和2年度および令和3年度は、6名の先生方にご協力いただいている。

山口 健・石川 修作・仲地 紀之・知花 幹雄・真栄城 修二・仲宗根 和則

6. 那覇地域産業保健センターの活動について

(1) 運営協議会の開催

第1回 令和4年2月4日（金）（昨年度より年1回の開催に変更）

- 主な議題及び検討課題：①令和3年4月～1月期間事業実績
- ②令和4年度活動計画

(2) 活動内容及び実績

○相談担当医師及び保健師の人数：（医師4人延べ201人）（保健師4人延べ242人）

○主な相談内容

① 健康診断結果に基づく医師からの意見聴取

- ・労働安全衛生法に定められている健康診断で、異常所見があった労働者に関して、その健康を保持するために必要な措置について事業主（衛生担当者）へ意見を述べた。

意見聴取計画 150事業所 2,000名 実績 265事業所 2,839名

② 脳・心臓疾患リスクが高い労働者に対する保健指導

- ・労働安全衛生法に定められている健康診断の結果、「血中脂質検査」「血圧の検査」「血糖検査」「尿中の糖の検査」「心電図検査」の項目に異常の所見があった労働者に対し、医師または保健師が日常生活面での指導や健康管理に関する情報を提供した。

健診結果に基づく相談：訪問（医師）計画0回：0名・実績0回：0名

特定健康相談：院内（保健師）計画220回：800名・実績217回：794名

〃〃：訪問（保健師）計画20回：150名・実績25回：195名

③ メンタル不調の労働者に対する相談・指導

- ・メンタル不調を感じている労働者に対し、医師または保健師による相談・指導を行った。

メンタル相談（医師）計画5回：5名・実績12回：12名

- ・高ストレス者面接指導 計画5回：5名・実績11回：11名

平成27年度スタートしたストレスチェック制度における高ストレス者への面接指導を50人未満の事業所でも継続的に実施している。

④ 長時間労働者に対する面接指導

- ・時間外労働が長時間に及ぶ労働者に対し、疲労の蓄積状況の確認など医師による面接指導を行った。

長時間労働面接指導：院内 計画50回：80名・実績41回：49名

〃〃：訪問 計画0回：0名・実績3回：3名

長時間労働者内訳：80時間以上 35名 80時間未満 14名

(3) コーディネーター活動（専従者1名）

○活動延日数：233日

○主な活動内容

- ・利用申込みに対する説明280回

- ・相談担当医師等と事業場との連絡調整 340件

- ・嘱託産業医紹介（相談総件数 25件 内契約件数 17件）

- ・本年度は離島訪問及び安全大会のようなイベントは全て中止となった。

※義務化された今でもストレスチェック制度をどのように進めたらいいのか解らないとの相談も18事業所対応した。

7. ICT推進委員会

那覇市医師会と株式会社ブルーボックスでLHR事業を進めるにあたりこれまでの課題となっていた事業提携契約書を同委員会の協議の末、締結するに至った。

契約内容は当会顧問弁護士の確認を得て法的に問題ないことを確認済み。収益事業の展開に係る事業選定については倫理委員会を那覇市医師会内部で立ち上げるのではなく、委員会の専門性や運用維持管理コスト等の課題から日本医師会等に外部委託することとし、収益配分については当面株式会社ブルーボックスの収支状況をみながら適宜配分を協議することとした。

また、2021年11月にLHRデータの活用アプリとして「depota」がリリースされ、これまでの「健康マイページ」から「depota」に移行していくとの報告がなされた。特定健診・がん検診実施医療機関が「depota」アプリを利用すればアプリ上で特定健診・がん検診の結果が参照できることとなる。「depota」のポスターとフライヤーを作成しLHR-IDの普及促進のため特定健診・がん検診実施医療機関に配布した。

III 検査事業

1. 品質マニュアルに基づくマネジメント体制強化

(1) 品質マニュアルを適用した検査部の運用の実践

- ① 品質マニュアルに基づく帳票類の改訂と精度向上を目指す。
- ② ヒヤリハット事例を十分に分析し防止策を立案し過誤を起こさない体制を構築する。
- ③ 検査部門単位の適正な業務量、適正な人員確保における労務環境整備を実践する。

(2) 高品質なマネジメント体制を強化する。

- ① 品質マネジメントシステムを実践し定期的な内部監査および品質監査を行う。
- ② 5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)活動を実施し、5Sチェックリストを用いたセルフチェックを定期的実施し改善する。
- ③ 品質改善チェックリスト(強調視点:機器帳票、作業日誌、検定記録等の帳票類)を用いたセルフチェックを定期的実施し改善する。
- ④ 精度管理委員会を毎月開催し、各検査部門の検査工程における過誤発生リスクの改善対策を行いPDCAサイクルによるリスク管理を行う。

2. 人材育成の推進

- (1) 中央検査室5分野(生化学、血液、免疫、輸血、一般)及び細菌検査担当技師等の次世代技師育成と、継続的な品質サービス向上に努める。
- (2) 細菌検査部門への質量分析機器導入による人材育成及び検査工数における受託施設の見直しを実施し、業務の安定稼働を図る。
- (3) 学会、社内講習会・勉強会等を活用した検査スキルを高める教育研修を推進する。

3. 検査部運営管理

- (1) コロナ禍の影響で顧客訪問活動は活発に行えなく、経営安定化までは至っていない。

- (2) 原価低減活動による効果としては、細菌検査部門へ質量分析器の導入により効果が得られた。
- (3) 検査室単位の製造原価の見直し、分野単位の継続的な原価低減を進めているが完了まで至っていないため、継続的に実施する。
- (4) 検査部収支

収入実績（令和3年度）

単位（千円：税抜）

分 野	令和2年度	令和3年度	前年度差	前年比（%）
生化学	106,188	106,041	△147	99.9
血液	36,991	37,465	474	101.3
免疫・血清	105,888	169,614	63,726	160.2
尿・糞便	7,360	10,970	3,610	149.0
病理	11,479	12,665	1,186	110.3
細胞診	32,000	33,051	1,051	103.3
細菌	47,264	39,977	△7,287	84.6
特殊	274,745	303,702	28,957	110.5
他	1,120	875	△245	78.1
計	623,035	714,360	91,325	114.7

4. 渉外機能の強化

- (1) 新規顧客の集荷回収時間と既存顧客の集荷回収時間の調整を行い、顧客要望に対応した集荷体制を実施している。
- (2) 各種健診事業に対する検査部の対応については、検診部と連携した活動を継続し実施している。
- (3) 検査室オートメーション化により既存顧客に柔軟に対応し、見学できる検査室として新規顧客の獲得率を高めた。新規顧客契約数は4施設であった。
- (4) IT支援室による各種システム対応が可能となり、業者調整、電子カルテのマスターメンテナンス、内部の各検査部署とシステム連携が出来ている。

IV 看護学校

今年度は、令和4年度から始まる新カリキュラムにかかる学則変更の申請手続きがあり、年間をとおして新学則および新カリキュラムの作成を行った。また、昨年に引き続きオンライン授業やオンライン実習を行い、コロナ禍においても学生の学びを止めないための工夫を凝らした授業を行った。そのために必要な情報機器整備は昨年度のWi-fi環境整備に続きサーバーの入れ替えを行い大容量の高速通信に対応した情報インフラの整備を行った。

学校行事は、入学式が学校関係者のみでの開催となり、宣誓式は中止となった。卒業式は保護者1名までと条件付きではあったが人を入れて開催することができた。

1. 各種委員会開催状況

- (1) 那覇看護専門学校運営委員会

委員会を3回開催した。開催状況は次のとおりである。

	開催期日	協 議 事 項
1	R3. 5. 19（水）	1. 令和2年度事業報告書（案）について 2. 令和2年度決算報告（案）について 3. 那覇市医師会奨学資金の対象者の決定について 4. 令和4年度新カリキュラム施行に伴う学則変更および実習施設の新規申請について
2	R3. 10. 20（水）	1. 令和4年度実習施設の変更について 2. 新カリキュラム申請に伴う学校運営について

3	R4. 2. 16 (水)	1. 令和3年度補正収支予算(案)について 2. 令和4年度事業計画書(案)について 3. 令和4年度収支予算(案)について 4. 令和4年度の職員体制について 5. 那覇看護専門学校50周年記念誌の発行について
---	---------------	--

(2) 入学卒業等認定委員会

委員会を4回開催した。開催状況は次のとおりである。

	開催期日	協議事項
1	R3. 6. 30 (水)	1. 令和3年度入学卒業等認定委員会計画 2. 令和4年度入学者選抜試験実施計画について 3. 新型コロナウイルス感染症による受験への影響・対応について
2	R3. 10. 13 (水)	1. 令和4年度推薦入学者選抜試験合否判定
3	R3. 11. 17 (水)	1. 令和4年度前期入学者選抜試験合否判定
4	R4. 2. 8 (火)	1. 令和4年度後期入学者選抜試験合否判定 2. 看護学科11期生の卒業判定・表彰者の選定 3. 令和5年度入学選抜試験の日程について

(3) 学校評価委員会

委員会を2回開催した。開催状況は次のとおりである。

	開催期日	協議事項
1	R3. 5. 19 (水)	1. 令和3年度評価委員会年間計画
2	R4. 2. 16 (水)	1. 教職員による自己点検・自己評価結果報告について 2. 研究に関する倫理審査

(4) 学校の将来を考える会

委員会は令和2年10月の開催を以って休会している。

(5) 業務会

担当理事及び副担当理事、学校長、事務長をメンバーに毎月1回、月内報告及び学校運営に関する事項について協議を行った。今年度は9回開催した。

2. 看護師の養成と資質の向上

(1) 令和4年度看護学科の入学生募集において多数の応募があった。

看護学科	1学年定員	応募者数	受験者数	合格者数	入学者	競争率
	120	372 (68)	348 (64)	129 (17)	120 (22)	2.69倍

※合格者数は辞退者分も含め、繰上げ合格者は含めていません。()男子再掲

(2) 令和4年3月4日に令和3年度卒業式(看護学科第11期)を行い、看護学科117名の卒業生を送り出した。(看護学科(3年課程)卒業生総数:1,115名)

(3) 第111回看護師国家試験は113名/117名の合格者(96.6%)であった。

3. 職員の資質の向上対策

各種研修会・講習会へ積極的に参加し、専任教員並びに事務職員の資質向上、教育の指導能力の充実に努めた。

(1) 教員研修状況は次のとおりである。

県外研修(オンライン・eラーニング含む)

年月日	研修会名	会場	参加数
-----	------	----	-----

R3. 4. 21	今どきの学生から主体性を引き出す授業展開の工夫	オンライン	1
R3. 5. 20	教育評価入門	オンライン	2
R3. 5. 24 ～ R3. 10. 22	東京慈恵会教務主任養成講習会	東京	1
R3. 5. 27	看護学生の学習を促す授業方法入門	オンライン	2
R3. 6. 21	高齢者特有のフィジカルアセスメントの実践	オンライン	1
R3. 6. 24	「映像・音声・画像を使って解説」小児看護の基礎と臨床	オンライン	1
R3. 7. 15	フィジカルアセスメント臨床推論の進め方	オンライン	1
R3. 8. 18	日本看護学教育学会 第31回学術集会	オンライン	1
R3. 5. 15	看護のためのフィジカルアセスメント 訪問看護の フィジカルアセスメントシリーズ①	オンライン	1
R3. 5. 29	看護のためのフィジカルアセスメント 訪問看護の フィジカルアセスメントシリーズ②	オンライン	1
R3. 6. 5	第22回 日本認知症ケア学会大会	オンライン	1
R3. 6. 11	グラウンデッド セオリー・アプローチの実践方法	オンライン	1
R3. 10. 1 ～ R3. 12. 1	第89回思春期セミナーコースⅠ・Ⅱ ～思春期保健 相談し特別配信～	オンライン	1
R3. 11. 11 ～ R4. 2. 28	チーム医療の構成員である看護師として果たすべき役割	オンライン	1
R3. 11. 11 ～ R4. 2. 28	協働におけるコンサルテーションと多職種カンファレンス	オンライン	1
R3. 11. 11 ～ R4. 2. 28	ケアの受け手の自己決定を支える多職種の協働・連携	オンライン	1
R4. 1. 31 ～ R4. 2. 14	日総研セミナー「今どきの若者の“倫理的思考力”を 高める教育法	オンライン	1

県外研修 計 19名

県内研修

年月日	研修会名	会場	参加数
R3. 8. 17	国際看護 ～外国人への適切な看護提供のために～	看護協会	1
R3. 11. 25	フィジカルアセスメント臨床推論の進め方Ⅱ	看護協会	1
R3. 7. 5	臨床判断能力を育てる臨床判断モデルで思考をつなぐ新人からエキスパートへ	看護協会	1
R3. 8. 25	病院と地域を「看護」が繋ぐ～地域包括ケアを支える看看連携へ～	看護協会	1
R3. 7. 10	沖縄県看護教育協議会 再教育研修会	オンライン	18
R3. 10. 30	第1回新任看護教員研修会「学生に興味を持たせる授業設計としての教材づくり」	那覇看	24
R3. 12. 16	豊見城市内自治会で開催されているミニデイ見学	与根共同 利用施設	1
R3. 12. 22	豊見城市内自治会で開催されているミニデイ見学	豊見城市 社会福祉 協議会	1

R3. 12. 24	「今を見つめて教員として一歩踏み出す力：学生の成長につながる支援について考える」	ぐし看	4
R3. 12. 18	「楽しく学べる看護シミュレーション教育のコツ」	オンライン	18
R3. 12. 22	「教育活動における臨床倫理～立ち止まり、選択を意識し、仲間で共に悩む～」	ぐし看	8
R4. 1. 22	学生に興味を持たせる授業設計としての「教材づくり」を实践で使える知識にする	那覇看	24
R4. 3. 18	教える人としての私を育てる～授業デザインの基本的な考え方とその実際～	浦看	3

県内研修 計 105名

(2) 学会等の発表はなし。

4. 臨地実習施設との連携強化並びに外来講師確保

(1) 昨年に引き続きコロナ禍の影響で実習の中止が相次ぎ、予定していた3,330時間の実習時間の内、臨地で行えたのは986時間であった。中止となった時間はオンラインや学内実習で行った。臨地で実施した実習施設（延べ70施設）は次のとおりである。

科 目 名	実 習 施 設 名
基礎看護学実習	基礎Ⅰ（9/21～9/29）は全てオンライン実習 基礎Ⅱ（1/5～1/21）は全てオンライン実習
成人看護学実習	成人Ⅰ（5/10～5/26） 浦添総合病院 県立南部医療センター・こども医療センター 与那原中央病院 南部徳洲会病院 沖縄協同病院 とよみ生協病院 ハートライフ病院 浦添総合病院健診センター 那覇市医師会生活習慣病検診センター 中部地区医師会健診センター 豊見城中央病院附属健康管理センター 成人Ⅱ（1/25～3/2） 全てオンライン実習 成人（3クール7/12～8/2・5クール10/18～11/5・6クール11/8～11/26） 豊見城中央病院 南部徳洲会病院 浦添総合病院
老年看護学実習	3クール7/12～8/2・5クール10/18～11/5・6クール11/8～11/26 沖縄協同病院 おもろまちメディカルセンター 南部徳洲会病院
小児看護学実習	3クール7/12～8/2・5クール10/18～11/5・6クール11/8～11/26 沖縄赤十字病院 沖縄協同病院 豊見城中央病院 県立南部医療センター・こども医療センター 南部療育医療センター 保育所（13箇所）
母性看護学実習	3クール7/12～8/2・5クール10/18～11/5・6クール11/8～11/26 糸数病院 豊見城中央病院 沖縄赤十字病院 たから産婦人科 南部徳洲会病院 子育て支援センター（9箇所） おきなわCAPセンター 母子未来センター 助産院他（2施設）
精神看護学実習	3クール7/12～8/2・5クール10/18～11/5・6クール11/8～11/26 オリブ山病院 平安病院 天久台病院 障害福祉サービス事業所

在宅看護論実習	5クール10/18～11/5・6クール11/8～11/26 新垣病院 訪問看護ステーションにじ きずな訪問看護ステーション 訪問看護ステーションひなた 訪問看護ステーションかみはら 訪問看護ステーションいこい 訪問看護ステーションとよみの杜 訪問看護ステーション名嘉村
統合実習	11/30～12/15 南部徳洲会病院 沖縄協同病院 浦添総合病院 友愛医療センター 豊見城中央病院 与那原中央病院

(2) 学内講義は、県内大学や中南部所在病院の先生方のご協力により、教育の目的を達成できた。

- ①専任教員（非常勤含む） 27名（2,697時間）
- ②非常勤講師 268名（4,158時間）

(3) ユニフィケーションシステム

1) 臨時実習施設と学校の教育連携推進会議（令和4年3月18日オンライン開催）

参加者： 10施設13名

主な内容：①令和3年度学校運営報告

②令和4年度新カリキュラムスタートに向けて

～本校の教育課程構築の考え方及び取り組み～

③令和3年度外来講師およびTA派遣実績

④令和4年度外来講師およびTA派遣計画

⑤看護教育・学生指導の意見交換会

⑥令和3年度外来講師・TA認定書授受について

2) 非常勤講師、ティーチングアシスタント（T・A）の派遣状況

講師派遣：13施設66名

TA派遣：7施設116名

連携施設：浦添総合病院、沖縄協同病院、沖縄赤十字病院、天久台病院、オリブ山病院、南部徳洲会病院、友愛医療センター、豊見城中央病院、沖縄第一病院

5. 教育環境の整備、学生支援の強化

(1) 図書室においてもの感染症対策として3密を避け使用後は使用場所の消毒を行うことを徹底した。また、図書の廃棄を行って書棚を整理したり書籍を探しやすくするために書棚にサインを提示し環境整備を行った。

(2) 下記の教材備品を整備した。

- ・きんちゅうくんII 4台
- ・男性導尿・浣腸モデル 5台
- ・装着型摘便シミュレーター 3台
- ・レザン Q CPR 全身充電式心肺バイタルモデル AED トレーナー付 1台
- ・車椅子(介助式) BAL-6 1台
- ・レザンベビー with Q CPR 1台
- ・胎児モデル（助産学習セット） F30 1台

(3) 下記の環境整備を行った。

- ・教材用ベッドキャスター修繕
- ・ノートパソコン修理
- ・折りたたみ式ワゴンキャスター修繕
- ・教壇修繕
- ・シュレッダー修理
- ・空調機器修繕
- ・ボイラー修繕
- ・プロジェクタ修繕
- ・1F トイレ水管修繕
- ・赤外線マイク修理

(4) 心の相談・学業相談

心理カウンセラー2名（男性1名、女性1名）で計26回の相談を行った。

(5) 学生生活活動への支援

オープンキャンパス運営サポート

(6) 推薦入試（社会人推薦は任意）合格者に対しプレスクールを開催し、看護学校での学びの実際を知る機会、学習モチベーションの維持を図った。

第1回12月11日・第2回2月16日・第3回3月10日に開催。第2回と第3回はオンラインで開催。

(7) 放送大学とのダブルスクールは、1年生4名、2年生2名、3年生3名が受講した。

(8) 里帰りの実施

4月20日 9期生卒後1年目 オンライン 参加者8名／129名

8月10日 10期生卒後6カ月目 オンライン 参加者30名／123名

(9) 学生支援緊急給付金（文科省）

10万円支給・・・46名の学生が支援を受けた。

(10) 国民年金の学生納付特例申請の代行処理

18名の学生が特例申請を行った。

(11) 各種支援

①タブレット端末10台寄贈（那覇北ロータリークラブ）

②マスク90箱、ガウン240セット寄贈（浦添ライオンズクラブ）

③コロナ支援金50万円交付（沖縄県医師会）

④実習時にかかるPCR検査費用に対する補助金交付（日本医師会）

(12) 那覇市医師会奨学金

10名の学生に30万円の奨学金を給付した。

6. 対外広報・地域との連携

(1) ホームページ上に公開しているブログを45件公開した。

(2) 就職ガイダンスや進路ガイダンスに34回参加し、本島および先島地方の高等学校へ進路説明会を行った。

(3) オープンキャンパスは、人数を制限して予約制で開催した。また、ホームページ上で学校紹介動画を掲載した。また、オンラインによる進路相談、奨学金相談を行った。

7. 後援会及び同窓会活動の支援

(1) 後援会より下記の費用負担を行った。

①看護師国家試験対策費用の負担

②入学式・卒業式等の学生ボランティアへの飲み物代等の負担

③臨地実習における学生駐車代の負担

(2) 同窓会からの学生支援

里帰りは1年後（9期生）、6カ月後（10期生）共にオンラインで行った。

VI 各種会議状況

1. 第49回那覇市医療協議会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止となった。

2. 第58回九州首市医師会連絡協議会（担当 福岡市医師会）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次年度へ開催延期となった。

3. 第62回地区医師会連絡協議会（担当 北部地区医師会）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次年度へ開催延期となった。